Canon

A4デジタル複合機

Satera D350/D300

ユーザーズガイド



ご使用前に必ずこの取扱説明書をお読みください。
将来いつでも使用できるように大切に保管してください。

JPN

取扱説明書の分冊構成について

本機の取扱説明書は、次のような構成になっています。目的に応じてお読みいただき、本機を十分にご活用ください。

本機をセットアップするには CARPSプリンタドライバをインストールする	セットアップガイド
原稿と用紙の取り扱いについて CARPSプリンタドライバで印刷するには コピーするには メンテナンスについて 給紙とコピーで困ったときには	ユーザーズガイド
ファクスを送受信するには スピードダイヤルを使うには ファクスで困ったときには	ファクスガイド （D350のみ）
ファクスドライバをインストールする ファクスドライバを使ってファクスを送信する Cover Sheet Editorを使用するには	ファクスドライバガイド （D350のみ）
CARPSプリンタドライバをインストールする プリンタの状態を確認する プリンタドライバで困ったときには	プリンタドライバガイド CD-ROM

CD-ROM このマークが付いている分冊は、付属のCD-ROMに収められているPDFマニュアルです。

メモ
- 本書では、D350のイラストを使用しています。

商標

キヤノンはキヤノン株式会社の登録商標です。UHQ™はキヤノン株式会社の商標です。

ENERGY STAR 当社は国際エネルギースタープログラムの参加事業者として、本製品が国際エネルギースタープログラムの基準に適合していると判断します。

目次

8章　困ったときには

9章　ユーザモードの設定

付録B　ハンドセット（オプション）の取り付け／接続（D350のみ）

マーク、表記について

本書中のマークや表記には、次のような意味があります。

警告 • **取り扱いを誤った場合に、死亡または重傷を負うおそれのある警告事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの警告事項をお守りください。**

注意 • **取り扱いを誤った場合に、傷害を負うおそれや物的損害が発生するおそれのある注意事項が書かれています。安全に使用していただくために、必ずこの注意事項をお守りください。**

重要 • 操作上、必ず守っていただきたい重要事項や制限事項が書かれています。機械の故障や破損を防ぐために、必ずお読みください。

メモ • 操作の参考となることや補足説明が書かれています。お読みになることをおすすめします。

(→n-nnページ)	かっこ内のページを参照してください。
→「セットアップガイド」	セットアップガイドを参照してください。
→「ファクスガイド」(D350のみ)	ファクスガイドを参照してください。
→「プリンタドライバガイド」	プリンタドライバガイドを参照してください。
本機	A4デジタル複合機 Satera D350/D300を表します。
初期設定	工場出荷時の設定。変更しないかぎり、この設定が使われます。
原稿	コピーする原紙です。
メニュー	本機を設定または変更するときに選ぶ設定項目のリストです。LCDディスプレイに表示されます。 ご利用いただけるメニューとLCDディスプレイの表示は、本機の種類によって異なります。本書では、D350で表示されるLCDディスプレイを例に説明しています。

本書では、操作パネル上のキーとLCDディスプレイの表示内容を、他の文字と区別した書体で表記しています。

- 操作パネル上のキーは、次の書体で表記しています。
  例：**ストップ/リセット**
- LCDディスプレイの表示内容は「　」で囲み、次の書体で表記しています。
  例：「ｺﾋﾟｰ ｼﾖｳ ｾｯﾃｲ」

1章

ご使用の前に

アフターサービスについて

本機は最新の技術を使い、トラブルなどが発生しないよう細心の注意を払って設計されています。
何か問題が発生したときは、まず「8章　困ったときには」を参照してください。それでも問題が解消されないときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）までお問い合わせください。

安全にお使いいただくために

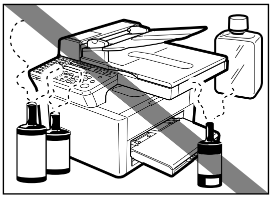
本機をお使いになる前に、次の安全上の注意を必ずお読みください。また、何か困ったことが起きたときにも参考にしてください。

警告
- **本機とカートリッジからは微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたら本機とカートリッジから離れてください。そして、医師にご相談ください。**

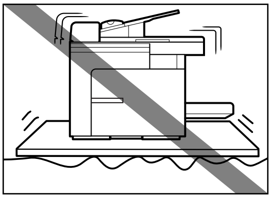
注意
- **本機を分解したり、改造しないでください。本体内部には高温・高圧の部分があり、火災や感電の原因になります。**
- **本体に表示されている注意事項は必ずお守りください。**

■ 設置について

警告
- **アルコール、シンナーなどの引火性溶剤の近くに設置しないでください。引火性溶剤が機械内部の電気部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。**

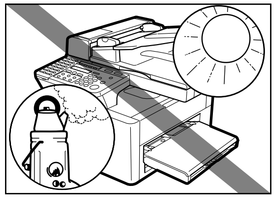


注意
- **機械には通気口がありますので、壁や物でふさがないように設置してください。必ず壁から10cm以上離してください。通気口をふさがれると機械内部に熱がこもり、火災の原因になることがあります。**
- **ぐらついた台の上や傾いたところなど不安定な場所や振動の多い場所に設置しないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因になることがあります。（各機種の重さ: D350　約16.1kg、D300　約14.5kg）**



- 本機を次のような場所には設置しないでください。
  - 湿気やほこりの多い場所
  - 換気の悪い場所
    使用中の本機からは、オゾンが発生しますが、その量は人体に影響を及ぼさない程度です。ただし、換気の悪い部屋で長時間使用する場合や、大量にコピーや印刷を行う場合には、快適な作業環境を保つため、部屋の換気をするようにしてください。
  - 直射日光の当たる場所

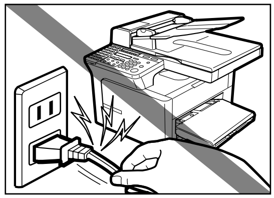
- 日光の当たる窓際や、ストーブ／加湿器の前など、高温多湿になるところには設置しないでください。また、暖房などによる急激な温度や湿度の変化は避けてください。
  - 望ましい使用環境　温度：15℃～27℃、相対湿度：20%～80%
- 戸外での使用や保管はしないでください。
- スピーカーなど磁気を帯びた機器や、磁界を生じる機器のそばには設置しないでください。



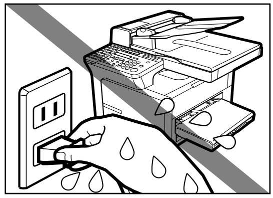
■ 電源について

警告

- **電源コードを傷つけたり、破損したり、加工したりしないでください。また重いものをのせたり、電源コードをひっぱったり、無理に曲げたりしないでください。傷ついた部分から漏電して、火災や感電の原因になります。**

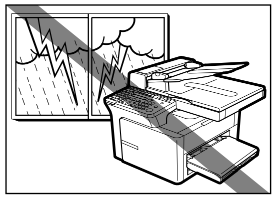


- **濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因になります。**



注意

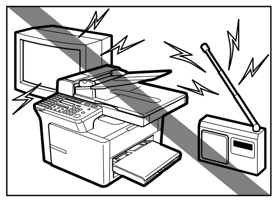
- **雷が鳴ったら、電源コードを電源コンセントから抜いてください（電源コードを抜いてから約1時間経過すると、メモリに保存された原稿は削除されるので、注意してください）。**
  D350をお使いの場合は、モジュラージャックコードを電話回線コンセントから抜いてください。



重要

- 電源プラグは年1回以上電源コンセントから抜いて、電源プラグの刃と刃の周辺部分を清掃してください。ほこりがたまると火災の原因になることがあります。

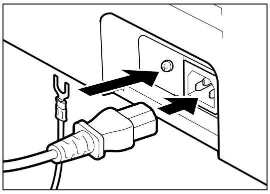
- エアコン、テレビ、コピー機などの電気機器と電源コンセントを共有することは避けてください。これらの機器は電気的ノイズを発生し、本機に悪影響を及ぼすことがあります。

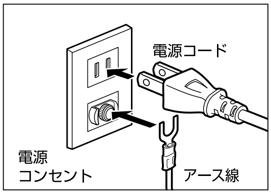


- 同梱されている電源コード以外は使用しないでください。火災や感電の原因になります。
- 次のような場合は、電源コードを電源コンセントから抜いてください。
  - 電源コードやプラグが傷ついたり、すり切れたりしている。
  - 本体や本体内部に水や液体をこぼした。
  - 本機が雨や水で濡れた。
  - 本機の取扱説明書にしたがって操作しても、正常に動作しない。「8章　困ったときには」の手順にしたがって対処したが、トラブルが解決しない。
    本機を操作するときは、必ず取扱説明書の手順にしたがってください。本機を壊してしまうと、大がかりな修理が必要になる場合があります。
  - 本機を落とした。または、本体や付属品が壊れた。
  - 本機の性能が明らかに変化し、修理が必要と考えられる。

アース線はアース端子に接続してください。

本体左側面のアース接続端子を電源コンセントなどのアース端子に接続してください。





警告

- **万一、漏電した場合の感電事故防止のため、アース線を取り付けることを強くおすすめします。アース線は次のところに取り付けられます。**

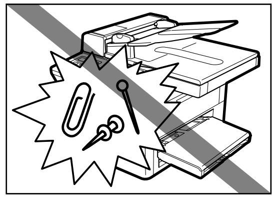
○
- ・電源コンセントのアース端子
- ・接地工事（D種）が行われている接地端子

次のようなところには、絶対にアース線を取り付けないでください。

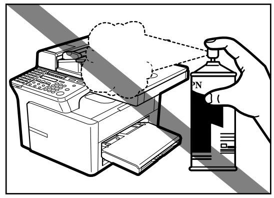
×
- ・ガス管
- ・電話専用アース端子
- ・避雷針
- ・水道管や蛇口

■ 取り扱いについて

警告

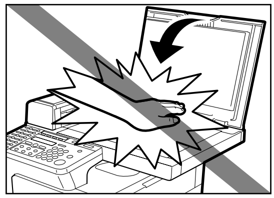


- 本体内部にクリップやホチキスの針などの金属片を落とさないでください。また、水、液体や引火性溶剤（アルコール、ベンジン、シンナーなど）をこぼさないでください。これらが本体内部の電気部分に接触すると、火災や感電の原因になることがあります。これらが本体内部に入った場合は、直ちに乾いた手で電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご連絡ください。

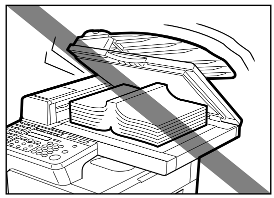


- 本機の近くでは、可燃性のスプレーなどは使用しないでください。スプレーのガスが本体内部の電子部品などに接触すると、火災や感電の原因になります。

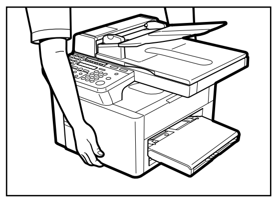
注意



- 原稿台カバーは、手を挟まないように静かに閉めてください。けがの原因になることがあります。



- 原稿台ガラスに厚い本などをセットするときは、原稿台カバーを強く押さえないでください。原稿台ガラスが破損してけがの原因になることがあります。



- 本機に強いショックや振動を与えないようにしてください。
- 移動や清掃をする際は、電源コードを電源コンセントから抜いてください。火災や感電の原因になります。
- カセット／手差しトレイを持って、本機を持ち上げないでください。
- 本機の性能が明らかに変化したときは、修理が必要と考えられます。

■ メンテナンス

警告

- カートリッジを火中に投じないでください。カートリッジ内部にあるトナーに引火して、やけどや火災の原因になります。

- 本機は清潔に保ってください。ほこりがたまると、正常に動作しなくなる場合があります。

警告

- 本書に特に説明がない場合は、お客様ご自身でのメンテナンスはおやめください。サービスが必要な場合は、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

電波障害規制について

本機は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会（VCCI）の基準に基づくクラスB情報技術装置です。本機は、家庭環境で使用することを目的としていますが、本機がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
本書にしたがって正しい取り扱いをしてください。

原稿などを読みこむ際の注意事項

以下を原稿として読みこむか、あるいは複製し加工すると、法律により罰せられる場合がありますのでご注意ください。

■ 著作物など

他人の著作物を権利者に無断で複製などすることは、個人的または家庭内その他これに準ずる限られた範囲においての使用を目的とする場合を除き違法となります。また、人物の写真などを複製などする場合には肖像権が問題となることがあります。

■ 通貨、有価証券など

以下のものを本物と偽って使用する目的で複製すること、またはその本物と紛らわしいものを作成することは法律により罰せられます。

- 紙幣、貨幣、銀行券（外国のものを含む）
- 国債証券、地方債証券
- 郵便為替証書
- 郵便切手、印紙
- 株券、社債券
- 手形、小切手
- 定期券、回数券、乗車券
- その他の有価証券

■ 公文書など

以下のものを本物と偽って使用する目的で偽造することは法律により罰せられます。

- 公務員または役所が作成した免許証、登記簿謄本その他の証明書や文書
- 私人が作成した契約書その他権利義務や事実証明に関する文書
- 役所または公務員の印影、署名または記号
- 私人の印影または署名

［関係法律］

- 刑法
- 著作権法
- 通貨及証券模造取締法
- 外国ニ於テ流通スル貨幣紙幣銀行券証券偽造変造及模造ニ関スル法律
- 郵便法
- 郵便切手類模造等取締法
- 印紙犯罪処罰法
- 印紙等模造取締法

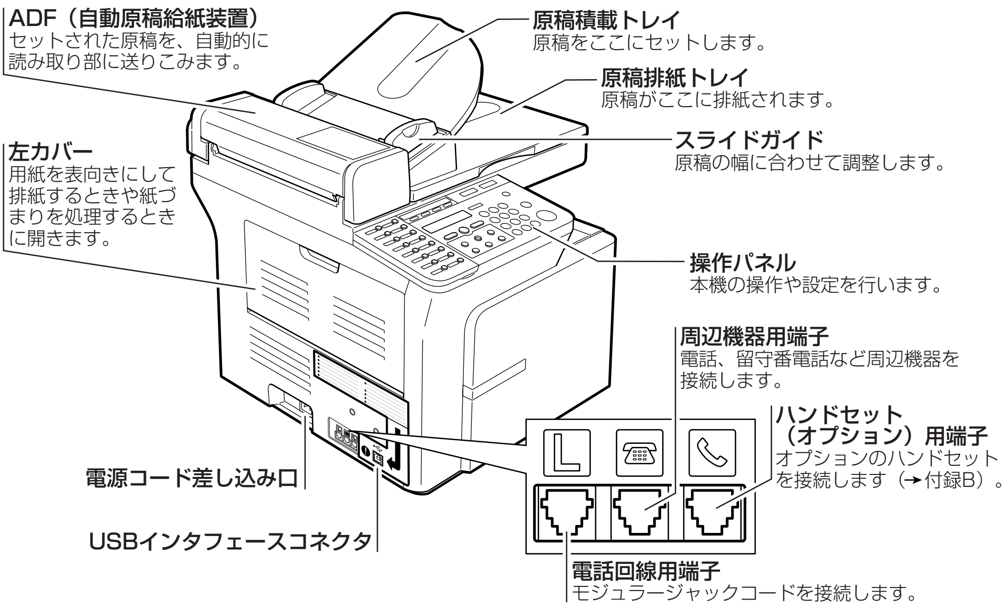
1 ご使用の前に

各部の名称と働き

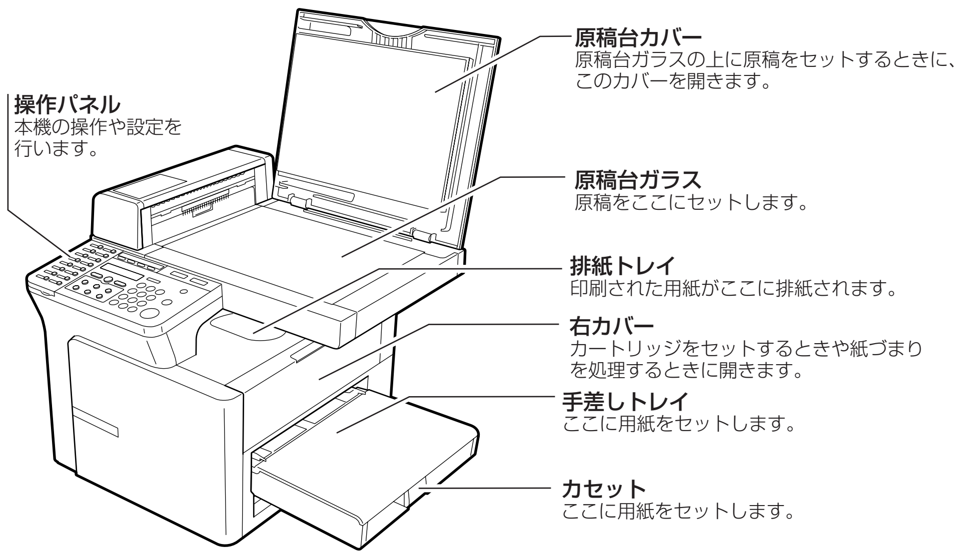
ここでは、本機の各部の名称と働きについて説明します。

■ D350

左面

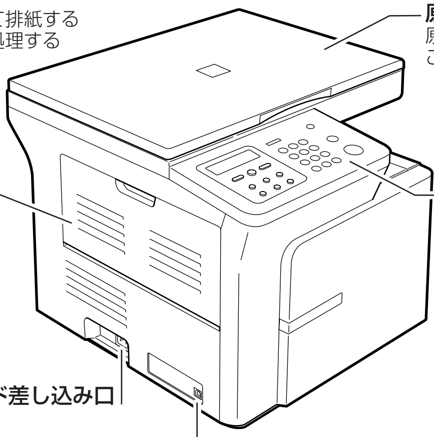


右面



■ D300

左面



左カバー
用紙を表向きにして排紙するときや紙づまりを処理するときに開きます。
原稿台カバー
原稿台ガラスの上に原稿をセットするときに、このカバーを開きます。
操作パネル
本機の操作や設定を行います。
電源コード差し込み口
USBインタフェースコネクタ

右面

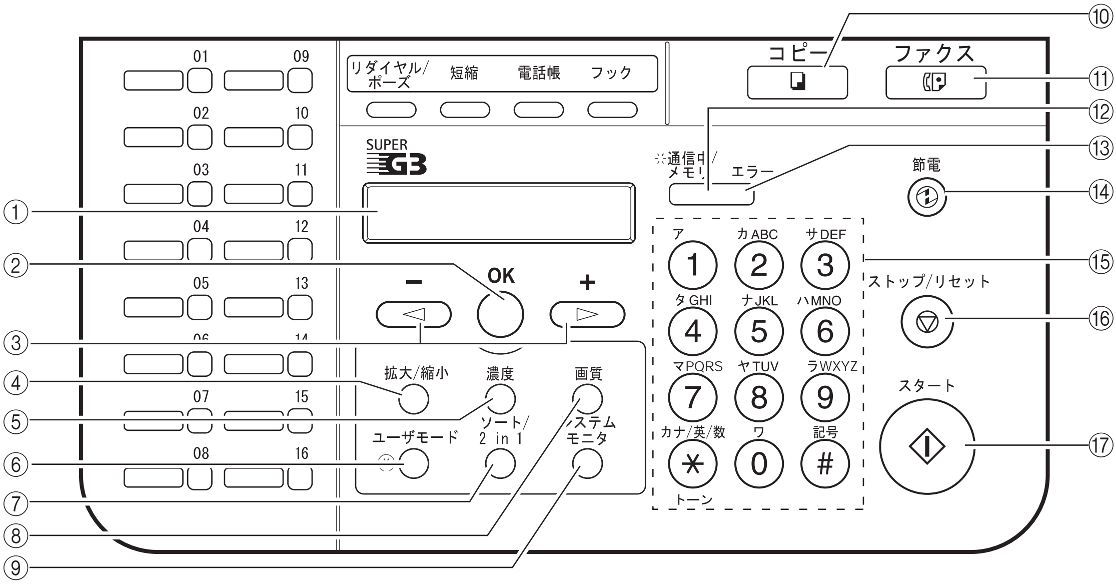


原稿台カバー
原稿台ガラスの上に原稿をセットするときに、このカバーを開きます。
操作パネル
本機の操作や設定を行います。
原稿台ガラス
原稿をここにセットします。
排紙トレイ
印刷された用紙がここに排紙されます。
右カバー
カートリッジをセットするときや紙づまりを処理するときに開きます。
手差しトレイ
ここに用紙をセットします。
カセット
ここに用紙をセットします。

操作パネル

コピーおよびユーザモードの設定に使うキーについて説明します。
ここで説明されていないキーについては、「ファクスガイド」を参照してください。

■ D350



① LCDディスプレイ
メッセージや動作状況が表示されます。設定を行うときは、選択項目や、文字、数字などが表示されます。

② [OK] キー
各種の登録や設定を確定するときに押します。
ADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）の途中で止まってしまった原稿を自動排紙するときにも押します。

③ [◀ (−)]、[▶ (+)] キー
表示をスクロールして、他の設定を見るときに押します。

④ [拡大/縮小] キー
コピーの倍率を設定します。

⑤ [濃度] キー
コピーの濃度を設定します。

⑥ [ユーザモード] キー
各種の登録や機能の設定をするときに押します。

⑦ [ソート/2 in 1] キー
コピーした用紙をページ順に並べて仕分けるときや、2枚のA4サイズの原稿を自動的に縮小して1枚のA4用紙にコピーするときに押します。

⑧ **［画質］キー**
コピーの画質を設定します。

⑨ **［システムモニタ］キー**
コピー／ファクス*／印刷／レポートジョブ*の状態をチェックします。

⑩ **［コピー］キー***
コピーモードに切り替えるときに押します。

⑪ **［ファクス］キー***
ファクスモードに切り替えるときに押します。

⑫ **通信中*/メモリランプ**
コピー中、または原稿がメモリに蓄積されているときに点灯（グリーン）します。

⑬ **エラーランプ**
紙づまりなど、エラーが発生したときに点滅（赤）します（LCDディスプレイにエラーの状態を表示します）。

⑭ **［節電］キー**
手動で本機を節電モードにするときや、節電モードから復帰するときに押します。節電モードのときはキーがグリーンに点灯し、節電モードから復帰すると消灯します。

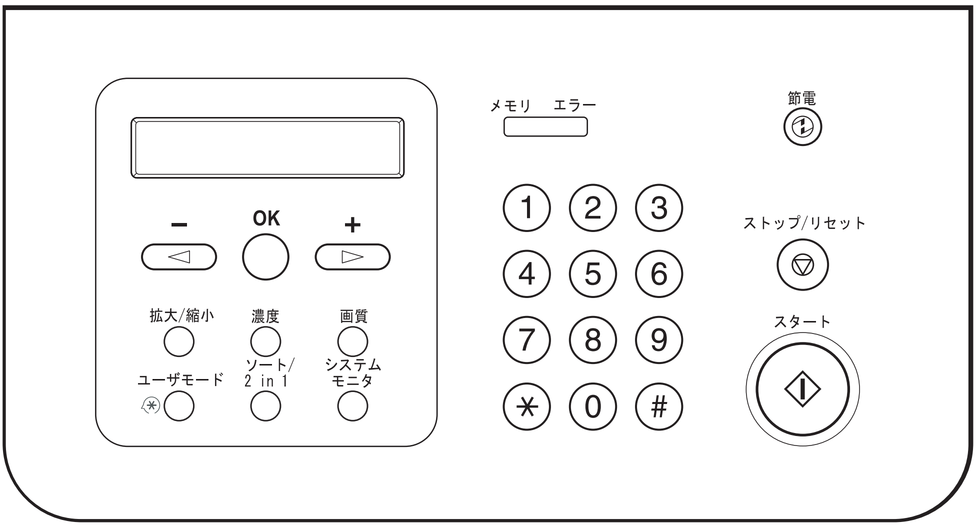
⑮ **テンキー**
コピー枚数などの数値を入力します。

⑯ **［ストップ/リセット］キー**
コピーなどの操作を取り消して、本機をスタンバイモードに戻します。また、予約コピーの確認／消去にも使います。

⑰ **［スタート］キー**
コピーを開始します。

*D350のみ

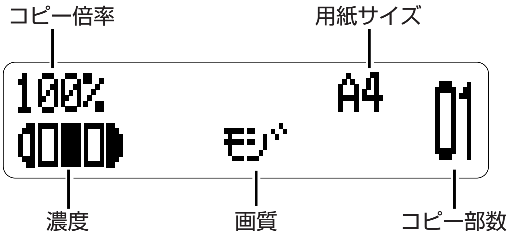
■ D300



スタンバイ表示

スタンバイ表示は、どのモードが選ばれているかにより表示が異なります。コピーモードのスタンバイ表示は次のとおりです。

■ コピーモード



- 本機の電源コードを電源コンセントに差し込むと、LCDディスプレイに「ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ」と表示され、しばらくするとコピーモードのスタンバイ表示になります。
- ファクスモードのスタンバイ表示についてはファクスガイドを参照してください。

節電モードについて

本機には節電機能が備わっています。約5分間何の操作も行わないと、自動的に節電モードになります。

メモ
- 節電モードになるまでの時間を3分～30分の範囲で設定できます。また、節電モードにしない設定もできます（→9-4ページ）。
- 本機が以下の状態のときは、節電モードになりません。
  - コピー、ファクス*などの出力中
  - ファクスの送受信中*
  - 予約コピー時など、原稿がメモリに蓄積されているとき（通信中*/メモリランプが点灯中）
  - 紙づまりが発生したとき
  - エラーコードが表示され、エラーランプが点滅しているとき
  - カセットおよび手差しトレイに用紙がセットされていないとき
  - 「0Kｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」と表示されているとき*
  - 用紙のサイズが一致していないとき
  - 右カバーが開いているとき
  - 通話中のとき

  * D350のみ

手動で節電モードにするとき

1 **節電**キーを押します。

- LCDディスプレイが消え、**節電**キーが点灯します。

メモ
- 節電モードから復帰した直後やコピーした直後は、約2秒間待ってから**節電**キーを押してください。

節電モードから復帰するとき

1 **節電**キーを押します。

- **節電**キーが消灯し、スタンバイモードになります。

メモ
- 節電モードからすぐにスタンバイモードになりますが、室温や環境により変わることもあります。

2章

用紙のセット

使用できる用紙

本機の性能を十分に活用していただくには、キヤノン推奨の用紙やOHPフィルムのご使用をおすすめします。市販されている用紙のなかには本機に合わないものもありますので、市販の用紙を使用する際にはお買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

用紙の保管

紙づまりの原因となりますので、以下の点にご注意ください。

- 用紙は湿気が少なく、直射日光が当たらない場所に保管してください。また、開封後の残りの用紙は湿気を避けるため、包装紙に包んで保管してください。
- 用紙は立てかけずに、水平に置いて保管してください。
- コピーをとったあと、手差しトレイに用紙を置いたままにしないでください。

使用できない用紙

紙づまりの原因となりますので、次のような用紙は使わないでください。

- しわのある用紙、丸まっている用紙
- カラー複写機またはカラープリンタ専用のOHPフィルム
- カラーコピーした用紙（裏面にコピーや印刷をしないでください。）
- 熱転写プリンタなどで印字した用紙（裏面にコピーや印刷をしないでください。）

重要

- カラー複写機またはカラープリンタ専用のOHPフィルムは、絶対に使わないでください。故障の原因になります。

使用できる用紙

	カセット／手差しトレイ
サイズ	A4、B5、A5、レター、リーガル、Executive、はがき 封筒：洋形4号、洋形2号、COM10、Monarch、DL、ISO-C5 フリー：216mm×356mm［最大］ / 76mm×127mm［最小］
厚さ	64g/m^2～128g/m^2
用紙の種類 および 質量	- 普通紙（64g/m^2～90g/m^2） - OHPフィルム - 厚紙（91g/m^2～128g/m^2）　：厚紙 - 普通紙L　：ざらつきのある紙

メモ

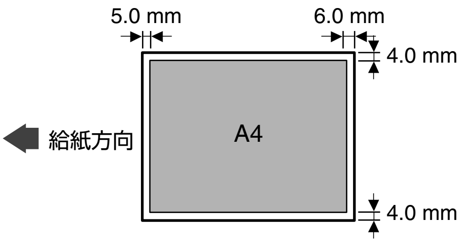
- 熱による故障を防ぐために安全機能が働くことがあります。そのため、用紙のサイズ、種類、枚数によっては印刷スピードが徐々に低下することがあります。

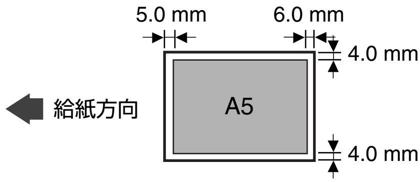
印刷範囲

「印刷範囲」とは、本機から最適な品質の印刷ができる範囲を意味します。

印刷範囲（　　　の部分）：この範囲内での印刷をおすすめします。

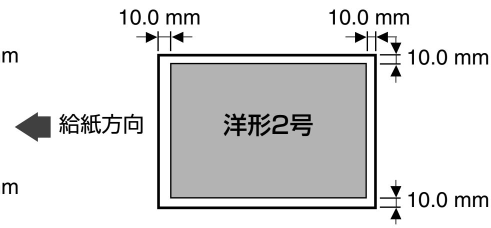
■ 用紙





■ 封筒





メモ
- コピー範囲は印刷範囲よりも多少広くなります（→3-2ページ）。

用紙をセットする

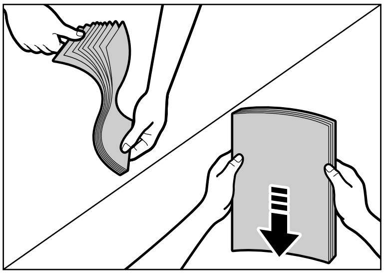
ここでは、カセットと手差しトレイに用紙をセットする方法を説明します。

注意
- **用紙をセットするときは、用紙の端で手を切ったりしないように注意して扱ってください。**

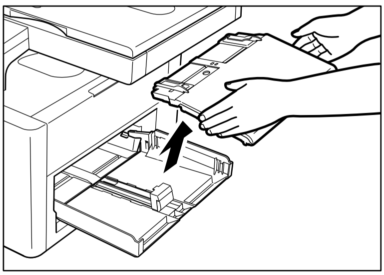
メモ
- 手差しトレイとカセットの両方に用紙がセットされている場合、手差しトレイの用紙が給紙されてから、カセットの用紙が給紙されます。
- カセットには64g/m²～80g/m²の用紙が約250枚入ります。

カセットに用紙をセットする

1 用紙をさばいてから、机などの平らな面で端をそろえます。

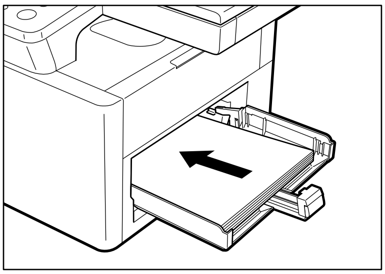


2 手差しトレイをはずします。



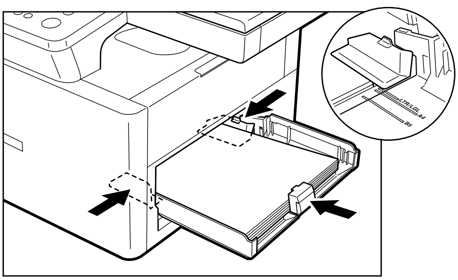
3 カセットに用紙をセットします。

- 用紙は突き当たるまで差し込んでください。
- ロゴ入りの用紙をセットするときは、印刷面（ロゴのある面）を上に向けて、用紙の上端のほうからカセットに差し込んでください。
- 用紙の高さが、幅ガイドと長さガイドのツメを超えないようにしてください。



4 幅ガイドと長さガイドを用紙のサイズに合わせます。

- 幅ガイドと長さガイドが用紙の端にぴったりつくようにしてください。



5 A4以外のサイズの用紙をセットするときは、サイズを指定します。

ユーザモードキーを押してから、次の項目を順に選びます。
「ﾖｳｼ　ｾｯﾃｲ」を選び、**OK**キーを押し、
「ﾖｳｼ　ｻｲｽﾞ」を選び、**OK**キーを押します。
◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、用紙サイズ（A4、B5、A5、レター、リーガル、Executive、はがき、封筒、フリー）を選び、**OK**キーを押します。

- 詳細については、「用紙のサイズと種類を指定する（カセットと手差しトレイに共通）」を参照してください（→5-3ページ）。

メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

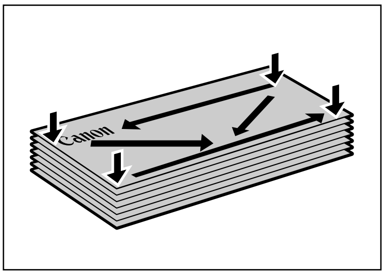
重要
- 異なる種類の用紙を一度に入れないでください。
- 用紙を補給する場合は、まず、残っている用紙をカセットから取り出してください。次に、補給する用紙と一緒にして、端をそろえてから、カセットにセットし直してください。

カセットに封筒をセットする

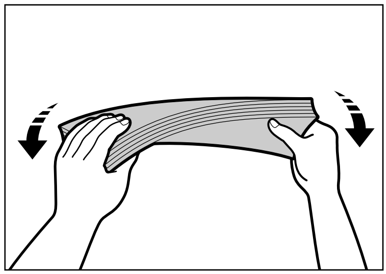
重要
- 封筒は、洋形4号、洋形2号、COM10、Monarch、DL、ISO-C5をおすすめします。それ以外の封筒をセットした場合は、コピー不良が起こることがあります。

1 安定した清潔な台の上に封筒の束を置き、四隅を押して折り目をそろえます。

- 封筒の周りや、フタの部分を押してまっすぐに伸ばし、中の空気を抜いてください。また、フタの部分を十分に押して、平らにしてください。

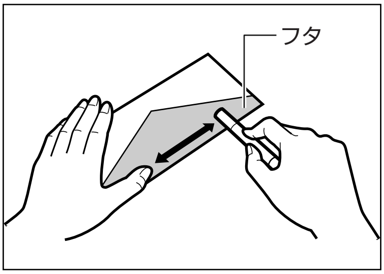


2 封筒がそっているときは、対角線上の端を持ち、ゆっくりと曲げて、まっすぐにします。



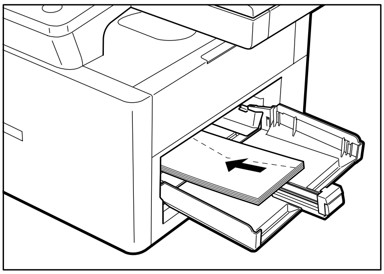
3 封筒のフタが丸まっているときは、ペンの軸などの丸いものでしごいてまっすぐに伸ばします。

- そりやふくらみが5mm以内になるようにしてください。

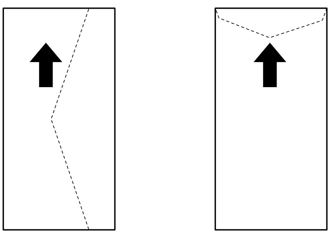


4 封筒の端をそろえて、印刷面（フタが見えない面）を上に向け、カセットにセットします。

- 封筒をセットしたあと、本体内部へ封筒を軽く押してください。
- カセットには封筒は約20枚入ります。

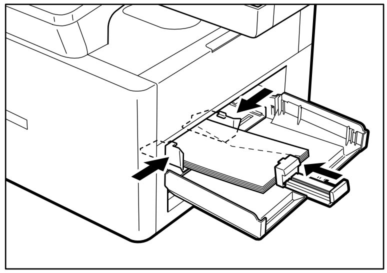


- 洋形封筒（長いほうの辺にフタがついている封筒）の場合は左端（切手を貼る側）を本体側にして、カセットに差し込んでください。
- 長形／角形封筒（短いほうの辺にフタがついている封筒）の場合はフタがついている辺を本体側にして、カセットに差し込んでください。
- 差し込みかたを間違えると紙づまりの原因になります。



5 幅ガイドと長さガイド（二段式）を封筒のサイズに合わせます。

- 幅ガイドと長さガイドが封筒の端にぴったりつくようにしてください。



6 封筒の種類を指定します。

ユーザモードキーを押してから、次の項目を順に選びます。
「ﾖｳｼ　ｾｯﾃｲ」を選び、**OK**キーを押し、
「ﾖｳｼ　ｻｲｽﾞ」を選び、**OK**キーを押します。
次に◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、「ﾌｳﾄｳ」を選び、**OK**キーを押します。
◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、封筒の種類（洋形4号、洋形2号、COM10、Monarch、DL、ISO-C5）を選び、**OK**キーを押します。

- 詳細については、「用紙のサイズと種類を指定する（カセットと手差しトレイに共通）」を参照してください（→5-3ページ）。

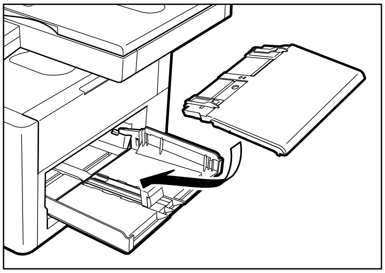
メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

手差しトレイに用紙をセットする

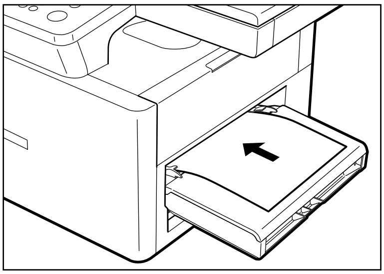
カセットに入っている用紙と違う用紙にコピー／印刷したいときは、手差しトレイを使います。
手差しトレイにはA4（64g/m²）で10枚、その他は1枚セットできます。

メモ
- 手差しトレイとカセットの両方に用紙がセットされている場合、手差しトレイの用紙が給紙されてから、カセットの用紙が給紙されます。

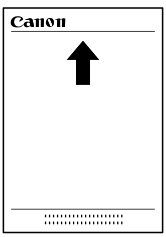
1 手差しトレイをセットします。



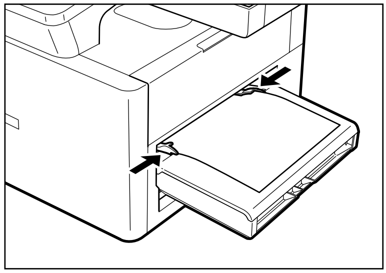
2 印刷面を上に向けて用紙を手差しトレイに差し込みます。



- ロゴ入りの用紙をセットする場合は、印刷面（ロゴのある面）を上に向けて、用紙の上端のほうから手差しトレイに差し込んでください。



3 スライドガイドを用紙のサイズに合わせます。



4 用紙のサイズを指定します。

ユーザモードキーを押してから、次の項目を順に選びます。
「ﾖｳｼ　ｾｯﾃｲ」を選び、**OK**キーを押し、
「ﾖｳｼ　ｻｲｽﾞ」を選び、**OK**キーを押します。
◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、用紙のサイズ（A4、B5、A5、レター、リーガル、Executive、はがき、封筒、フリー）を選び、**OK**キーを押します。

- 詳細については、「用紙のサイズと種類を指定する（カセットと手差しトレイに共通）」を参照してください（→5-3ページ）。

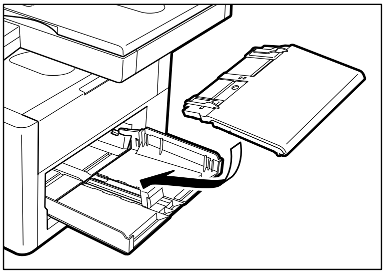
メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

手差しトレイに封筒をセットする

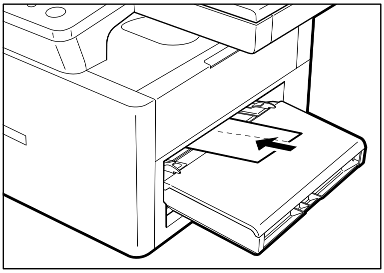
封筒に1枚ずつコピー／印刷したいときは、手差しトレイを使います。

メモ
- 手差しトレイの封筒が給紙されてから、カセットの封筒が給紙されます。

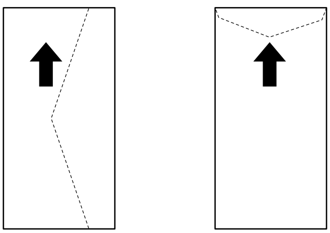
1 手差しトレイをセットします。



2 印刷面（フタが見えない面）を上に向け、封筒を手差しトレイにセットします。

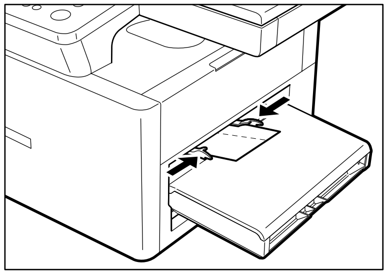


- 洋形封筒（長いほうの辺にフタがついている封筒）の場合は左端（切手を貼る側）を本体側にして、手差しトレイに差し込んでください。
- 長形／角形封筒（短いほうの辺にフタがついている封筒）の場合はフタがついている辺を本体側にして、手差しトレイに差し込んでください。
- 差し込みかたを間違えると紙づまりの原因になります。



3 スライドガイドを封筒のサイズに合わせます。

- スライドガイドが封筒の端にぴったりつくようにしてください。



4 封筒の種類を指定します。

ユーザモードキーを押してから、次の項目を順に選びます。
「ﾖｳｼ　ｾｯﾃｲ」を選び、**OK**キーを押し、
「ﾖｳｼ　ｻｲｽﾞ」を選び、**OK**キーを押します。
次に**◀(−)**キーまたは**▶(+)**キーを押して、「ﾌｳﾄｳ」を選び、**OK**キーを押します。
◀(−)キーまたは**▶(+)**キーを押して、封筒の種類（洋形4号、洋形2号、COM10、Monarch、DL、ISO-C5）を選び、**OK**キーを押します。

- 詳細については、「用紙のサイズと種類を指定する（カセットと手差しトレイに共通）」を参照してください（→5-3ページ）。

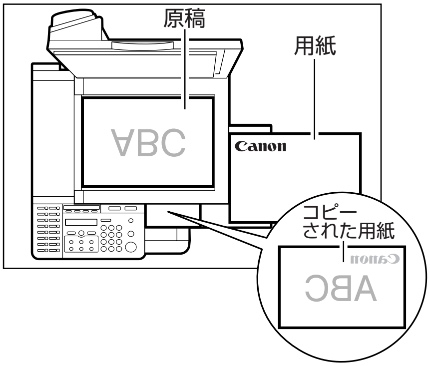
メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

重要

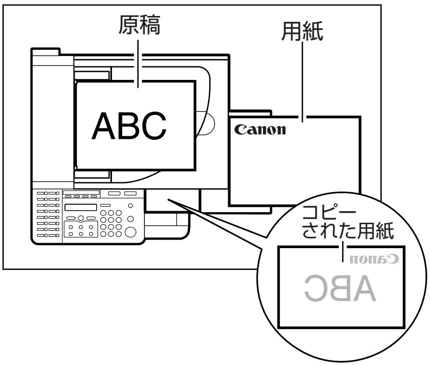
- スライドガイドを用紙のサイズに合わせておかないと、コピー不良が起こることがあります。

メモ

- 原稿を原稿台ガラスにセットするときは、原稿の向きとカセット／手差しトレイの用紙の向きは次の図のようになります。



- 原稿をADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）にセットするときは、原稿の向きとカセット／手差しトレイの用紙の向きは次の図のようになります。

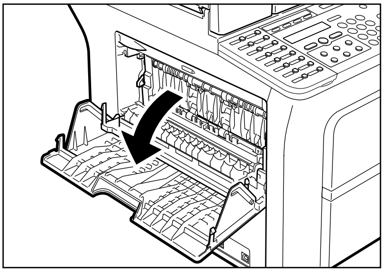


- 封筒や厚紙を差し込むときは、確実にセットされるように本体内部へ軽く押してください。
- 用紙がカールしているときは、必ずカールを直してからカセット／手差しトレイにセットしてください。しわや紙づまりの原因になります。
- 用紙の種類によってはカセット／手差しトレイに正しくセットされない場合があります。これを防ぐには、キヤノン推奨の用紙やOHPフィルムをお使いください（→2-1ページ）。
- 小さいサイズの用紙、厚紙などにコピーすると、コピースピードが少し遅くなることがあります。

排紙の向きを選ぶ

裏向き排紙の場合は、印刷面が下を向いた状態で排紙されます。
表向き排紙の場合は、印刷面が上を向いた状態で排紙されます。目的に応じて、左カバーの開閉によりどちらかを選んでください。

左カバーを開くと表向き排紙、閉じると裏向き排紙になります。



重要
- コピー中や印刷中はカバーの開閉をしないでください。

用紙の種類と排紙の向き

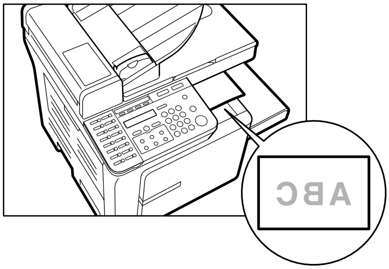
排紙の向きは、用紙の種類や目的に応じて選んでください。

用紙の種類	排紙の向き	排紙枚数
普通紙	表向き	1枚
	裏向き	約50枚（64g/m^2〜80g/m^2）
OHPフィルム	表向き	1枚
	裏向き	10枚
ラベル	表向き	1枚
	裏向き	10枚
封筒	表向き	1枚
	裏向き	10枚

裏向き排紙

用紙は、印刷面が下を向いた状態で排紙トレイに排紙されます。
用紙は印刷順に重ねられます。通常はこの方法が便利です。

左カバーを閉じます。



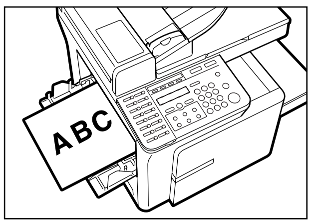
重要

- いったん排紙トレイから取り出した用紙を排紙トレイに戻さないでください。
- 排紙トレイの上にはモノを置かないでください。
- これらを守らないと、紙づまりが起こることがあります。

表向き排紙

用紙は、印刷面が上を向いた状態で、本体左側の表向き排紙ポートから排紙されます。
用紙が本機内部をまっすぐに通り抜けて排紙されるため、この方法はOHPフィルムやラベルなどの用紙に適しています。

左カバーを開きます。



重要

- 排紙された用紙は1枚ずつ取り出してください。
- 用紙を強く引っ張らないでください。
- 本機には表向き排紙用の排紙トレイはありません。排紙された用紙は手で取り出してください。
- 表向き排紙ポートの前にはモノを置かないようにしてください。
- これらを守らないと、紙づまりが起こることがあります。

3章

原稿のセット

使用できる原稿

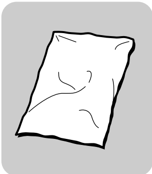
原稿台ガラスやADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）にセットする原稿が、次の表の条件を満たしているか確認してください。

	原稿台ガラス	ADF（D350のみ）
原稿の種類	ー 普通紙 ー 紙の厚い原稿 ー 写真 ー 小さいサイズの原稿 （例：はがき） ー 特殊な種類の用紙 （例：第2原図*、OHPフィルム*など） ー ブック原稿	ー 普通紙 （同じサイズ／厚み／質量の原稿を複数枚、または1枚）
サイズ （幅×長さ）	最大　D300：216mm×356mm D350：216mm×297mm	最大216mm×356mm 最小148mm×105mm
一度にセットできる枚数	1枚	A4最大50枚（64g/m^2〜80g/m^2）
質量	最大荷重：2kg	64g/m^2〜105g/m^2

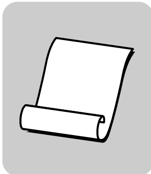
* 第2原図やOHPフィルムなど透明度の高い原稿をコピーするときは、原稿の裏に白紙をのせてください。

使用できない原稿

- 原稿台ガラスやADF（D350のみ）に原稿をセットするときは、のりやインク、修正液が完全に乾いているか確認してください。
- ADF（D350のみ）に原稿をセットするときは、留め具（ホチキスの針、クリップなど）は、すべて取り除いてください。
- ADF（D350のみ）での紙づまりを防ぐために、次のような原稿は使わないでください。



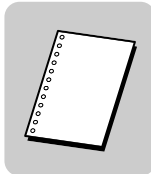
しわや折り目がある原稿



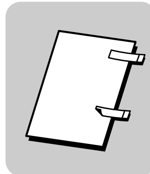
カールしている原稿



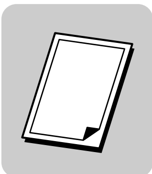
破れている原稿



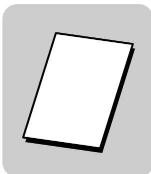
穴があいている原稿



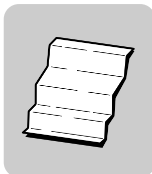
付箋紙がついた原稿



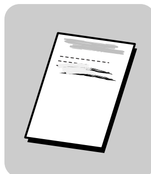
カーボン紙、またはカーボン紙に貼られている原稿



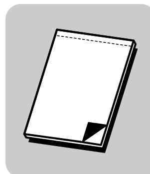
コーティングされた原稿



極端に薄い原稿



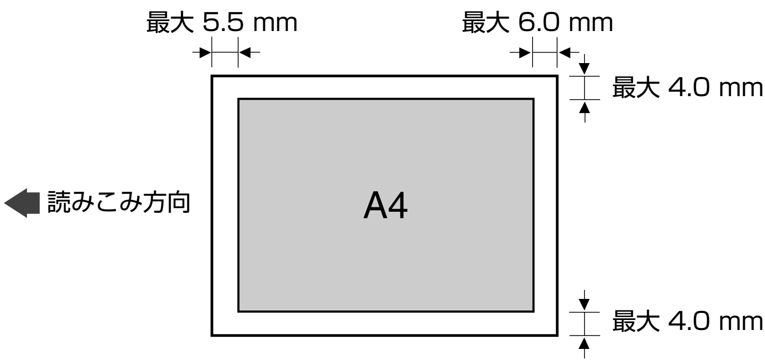
のりやインク、修正液などの異物が完全に乾いていない原稿



便箋

読みこめる範囲

次の図の　　　で示した範囲を読みこむことができます。原稿の文字や絵がこの範囲内に入るようにしてください。



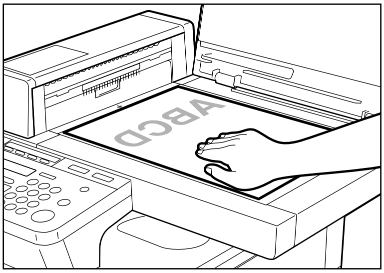
原稿をセットする

原稿は、原稿台ガラスかADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）にセットします。どちらにセットするかは、原稿のサイズや種類、お使いの機種により異なります（→3-1ページ）。

原稿台ガラスにセットする

1 原稿台カバーを開きます。

2 原稿面を下に向けて原稿台ガラスにセットして、用紙サイズのマークに合わせます。



3 原稿台カバーをゆっくり閉じます。

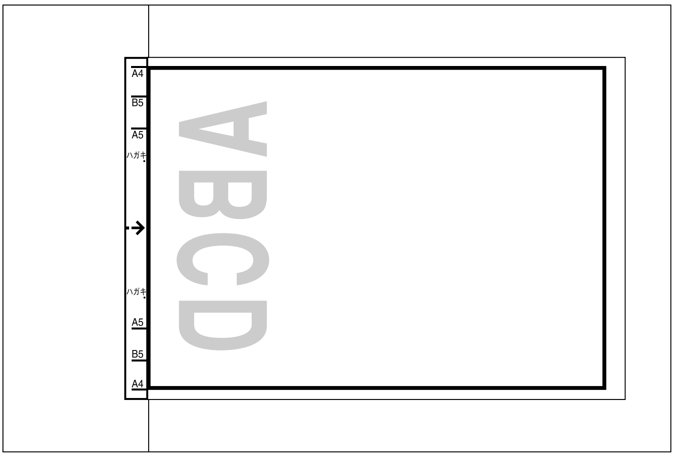
- 原稿を読みこむ準備が完了しました。

■ 原稿を適切な位置にセットする

原稿は原稿台左側にあるサイズプレートを使って、次のようにセットします。

- 原稿に合う用紙サイズ（A4、A5など）のマークがサイズプレートにある場合
  そのマークに合わせて、原稿面を下に向けてセットします。
- 原稿のサイズが不明の場合、または原稿に合う用紙サイズマークがサイズプレートにない場合
  サイズプレートの中央にある➔マークに原稿の中央を合わせて、原稿面を下に向けてセットします。

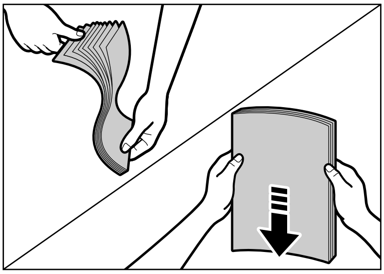
次の図は、A4サイズの原稿をセットしたときの例です。



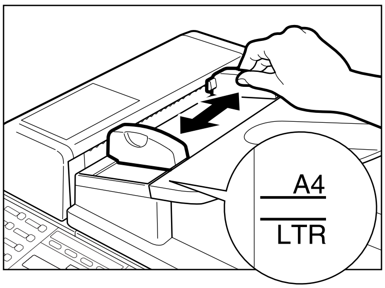
ADFにセットする（D350のみ）

1 原稿台ガラスに原稿がないことを確認します。

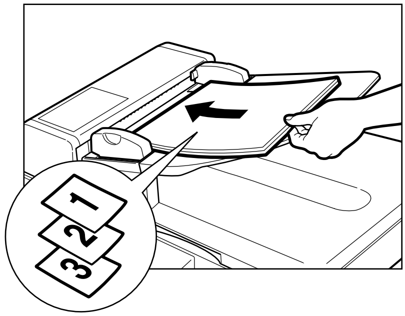
2 複数ページの原稿は、用紙をさばいてから、机などの平らな面で端をそろえます。



3 スライドガイドを原稿の幅に合わせます。



4 原稿面を上向きにしてADFにセットします。

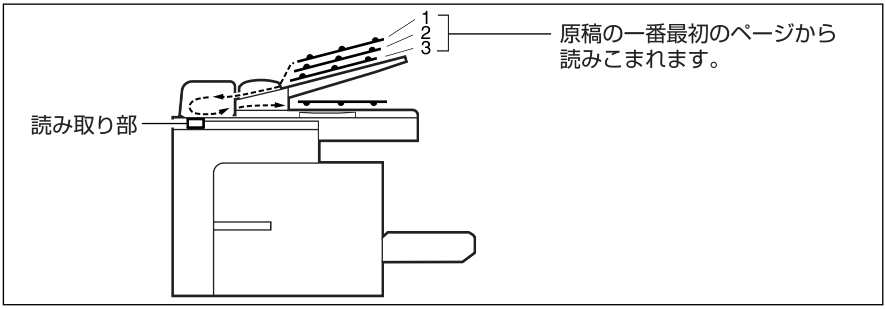


ｹﾞﾝｺｳｶﾞ　ｾｯﾄ　ｻﾚﾏｼﾀ

- 原稿を読みこむ準備が完了しました。

メモ
- 複数ページの原稿をセットした場合は、一番上のページ（最初のページ）から1枚ずつ読みこまれます。
- すべての原稿が読みこまれるまで、次の原稿をセットしないでください。
- ADFには、A4サイズ（64g/m²〜80g/m²）の原稿を50枚までセットできます。紙づまりの原因となりますので、50枚以上はセットしないでください。

ADFでの紙送り（D350のみ）



- ADFに原稿をセットしたときは、読み取り部は上の図の位置に移動して、固定されます。ADFに原稿をセットしなかったときは、読み取り部が移動しながら読み取ります。

4章

パソコンから印刷する

印刷の前に

印刷を始める前に、お使いのパソコンにCARPSプリンタドライバをインストールしておく必要があります。CARPSプリンタドライバをインストールしていない場合は、「セットアップガイド」を参照してください。

本機が通常使うプリンタに設定されているか確認してください。

- 本機が通常使うプリンタに設定されているかどうかは、アプリケーションの **［印刷］** ダイアログボックスで確認できます。［プリンタ名］に本機が表示されていることを確認してください（手順の詳細についてはこのあとの説明を参照してください）。

通常使うプリンタに設定されていない場合は、次の手順を行ってください。

1 Windowsのデスクトップで、**［スタート］** メニューから **［設定］**、**［プリンタ］** の順に選びます。

2 **［プリンタ］** フォルダで、本機のアイコンを右クリックし、表示されるメニューから **［通常使うプリンタに設定］** を選びます。

- ［ファイル］メニューから **［通常使うプリンタに設定］** を選ぶこともできます。

CARPSプリンタドライバからの印刷（例：Windows 98）

印刷する

1 Windows 98のアプリケーションで原稿を開いて、［ファイル］メニューから**［印刷］**を選びます。

2 **［印刷］**ダイアログボックスで、［プリンタ名］に本機が表示されているか確認します。

- 表示されていない場合は、［プリンタ名］ドロップダウンリストから本機を選びます。

3 **［OK］**をクリックして原稿を印刷します。



印刷を中止する

■ 印刷が始まっていない場合

1 **［印刷］**ダイアログボックスで、**［OK］**をクリックする前に、**［キャンセル］**をクリックします。

■ 印刷が始まっている場合

1 Windows 98のデスクトップで、**［スタート］**メニューから**［設定］**、**［プリンタ］**の順に選びます。

2 **［プリンタ］**フォルダで、本機のアイコンをダブルクリックします。次にドキュメント名を右クリックし、表示されるメニューから**［印刷中止］**を選びます。

印刷設定を変える

本機は、工場出荷時に基本的な設定がされています。どんな印刷結果になるかは、この設定によって決まります。この印刷設定は、印刷対象の原稿に合わせて変更できます。印刷機能の詳細については、「プリンタドライバガイド」を参照してください。

変更した場合はその印刷設定を「お気に入り」として保存しておくことで、次回からの印刷でその設定を使用することができます。「お気に入り」の詳細については、「プリンタドライバガイド」を参照してください。

1 Windows 98のアプリケーションで原稿を開いて、[ファイル] メニューから **[印刷]** を選びます。

2 **[印刷]** ダイアログボックスで **[プロパティ]** をクリックします。

3 **[プロパティ]** ダイアログボックスで、目的のタブを選んで設定を変更します。

- 特定のタブで行った変更を標準設定に戻したい場合は、**[標準に戻す]** をクリックしてください。

4 変更を確定してダイアログボックスを閉じるには、**[OK]** をクリックします。

- 変更を中止してダイアログボックスを閉じるには、**[キャンセル]** をクリックします。



5章

コピーする

コピーできる原稿

コピーできる原稿の種類、条件、セット方法については、「3章　原稿のセット」を参照してください。

原稿をコピーする

1 **コピー**キーを押してコピーモードにします。

メモ
- D300をお使いの場合は、この操作は不要です。

例：
```
100%          A4     01
◖□■□◗   モジ゛
```

2 原稿を原稿台ガラスまたはADF（自動原稿給紙装置）*にセットします。原稿台ガラスには原稿面を下向きにして、ADF*には原稿面を上向きにしてセットしてください。

* D350のみ

3 必要に応じて、次のコピー機能を設定できます。

- コピー部数（→5-3ページ）
- 拡大/縮小（→5-5ページ）
- 画質（→5-6ページ）
- 濃度（→5-7ページ）
- ソートコピー（→5-8ページ）
- 2 in 1コピー（→5-10ページ）

メモ
- コピー中は、設定を変更できません。

4 **スタート**キーを押してコピーを開始します。

例：
```
ヨミコミ チュウ
コピ゜ー バ゛ンゴ゛ウ       0001
```

- コピー中に用紙がなくなると、LCDディスプレイに「ヨウシガ゛　アリマセン」と表示されます。カセットの用紙にコピーしていたときはカセットに、手差しトレイの用紙にコピーしていたときは手差しトレイに用紙を補給してください。補給が終わると、自動的にコピーが再開します。

メモ
- コピー中に用紙を補給するときは、必ず同一サイズの用紙を補給してください。
- コピー出力中に次のコピーを予約できます（→5-12ページ）。
- コピーが終了しても、手順3での設定はそのまま残ります。ただし、**ストップ/リセット**キーを押したり、2分間何も操作しないと、オートクリア機能により初期設定に戻ります（オートクリア機能が働くまでの時間は変更できます（→9-4ページ））。
- 排紙トレイの容量は最大50枚（80g/m²）です。紙づまりの原因になることがあるので、50枚になる前に排紙トレイから用紙を取り出してください。

コピーを中止する

■ ADF（D350のみ）にセットした原稿を読みこんでいるとき

1 **ストップ/リセット**キーを押します。

```
ｽﾄｯﾌﾟ ｷｰｶﾞ  ｵｻﾚﾏｼﾀ
OKｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ
```

2 残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押します。

- ADFの途中で止まっていた原稿が自動排紙されます。

■ 原稿の読みこみが終わっているとき

1 **ストップ/リセット**キーを押します。

```
ｺﾋﾟｰｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 < ﾊｲ          ｲｲｴ >
```

2 ◀**(－)**キーを押して「ハイ」を選びます。

基本的な機能を使ったコピー

コピー部数を設定する

複数部のコピーができます。

1 テンキーで、コピー部数を入力します。

例：


- 入力したコピー部数がLCDディスプレイに表示されます。
- 最大99部までコピーできます。

メモ
- コピー出力中に次のコピーを予約できます（→5-12ページ）。
- 入力したコピー部数は、変更するかオートクリア機能が働くまでLCDディスプレイにそのまま表示されます。
  オートクリア機能が働くとLCDディスプレイはスタンバイ表示になり、コピー部数の表示は「01」（初期設定）に戻ります。

用紙のサイズと種類を指定する（カセットと手差しトレイに共通）

メモ
- A4サイズより小さいサイズの用紙に連続コピーしたあとでA4サイズの用紙にコピーすると、コピー面が汚れることがあります。これを防ぐには、連続コピーのあと約1分間待ってからコピーします。
- 手差しトレイの用紙がコピーされてから、カセットの用紙がコピーされます。
- ユーザモードで設定を変更した場合には、オートクリア機能が働かず、変更前の設定に自動的には戻りません。変更前の設定に戻したい場合は、その設定になるようにもう一度ユーザモードで設定を変更してください。
- 小さいサイズの用紙や厚紙*などにコピーすると、コピースピードが少し遅くなることがあります。
  * 厚紙などを使用する場合は、ユーザモードで用紙の種類を選んでください。
- 1枚の用紙にコピーと熱転写プリンタ印字の両方を行う場合は、コピーを先に行ってください。熱転写プリンタで印字したあとでコピーすると、コピー画像が汚れたり、紙づまりが起こることがあります。
- OHPフィルムにコピーするときは、1枚排紙されるごとに排紙トレイから取り出してください。

■ 用紙のサイズを指定する

用紙のサイズは「A4」に初期設定されています。用紙サイズを変更する場合は、次の手順にしたがってください。

メモ
- ユーザモードの設定方法については、「9章　ユーザモードの設定」を参照してください。

用紙のサイズを指定するには、**ユーザモード**キーを押してから、次の項目を順に選びます。
「ヨウシ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押し、
「ヨウシ　サイズ゛」を選び、**OK**キーを押します。
次に◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、次の中から用紙サイズを選びます。

-「A4」: A4
-「B5」: B5
-「A5」: A5
-「LTR」: レター
-「LGL」: リーガル
-「EXEC」: Executive
-「ハガ゛キ」: はがき
-「フウトウ」: 封筒
-「フリー」*: フリー

封筒を選んだ場合は、◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、次の中から封筒の種類を選びます。

-「ヨウガ゛タ　4ゴ゛ウ」: 洋形4号
-「ヨウガ゛タ　2ゴ゛ウ」: 洋形2号
-「COM10」: COM10
-「Monarch」: Monarch
-「DL」: DL
-「ISO-C5」: ISO-C5

*「フリー」を選んだ場合は、用紙の縦と横の長さをミリで指定します。
横の長さの設定範囲：127mm〜356mm
縦の長さの設定範囲：76mm〜216mm

メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

■ 用紙の種類を指定する

用紙の種類は「フツウシ」に初期設定されています。普通紙以外の用紙では画像が欠けたり、にじんだりすることがありますが、次の手順で用紙の種類を指定するとそれを防ぐことができます。

メモ
- ユーザモードの設定方法については、「9章　ユーザモードの設定」を参照してください。

用紙の種類を指定するには、**ユーザモード**キーを押してから、次の項目を順に選びます。
「ヨウシ　セッテイ」を選び、**OK**キーを押し、
◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して「カミシュ」を選び、**OK**キーを押します。
次に◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、次の中から用紙の種類を選びます。

-「フツウシ」: 普通紙（64g/m^2〜90g/m^2）
-「OHP フィルム」: OHPフィルム
-「アツガ゛ミ」: 厚紙（91g/m^2〜128g/m^2）
-「フツウシL」: ざらつきのある紙

メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

拡大／縮小コピーする

原稿を拡大および縮小してコピーするには、以下の方法があります。

- あらかじめセットされたコピー倍率を選ぶ
- ズームを選んで手動でコピー倍率を設定する

定形倍率を使って、拡大または縮小する

1 **拡大/縮小**キーを押します。

例：
```
テイケイ ヘンバ イ
 －          100%        ＋
```

2 ◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、コピー倍率を選びます。

例：
```
テイケイ ヘンバ イ
 －     70% A4→A5        ＋
```

- コピー倍率は、次の中から選べます。
  - -200% MAX.
  - -141% A5→A4
  - -115% B5→A4
  - -100%
  - -86% A4→B5
  - -81% B5→A5
  - -70% A4→A5
  - -50% MIN.

3 **OK**キーを押します。

例：
```
 70%                A4   01
◐□■□◗        モジ゛
```

メモ

- ユーザモードから「コピ゜ー シヨウ セッテイ」の「サイズ゛ ケイレツ」を設定することにより、次のコピー倍率を選べます。
  - AB： 50%、70%、81%、86%、100%、115%、141%、200%
  - インチ：50%、64%、78%、100%、129%、200%
  - A： 50%、70%、100%、141%、200%
- 2 in 1コピーとの組み合わせはできません。
- 100%に戻すには、**拡大/縮小**キーを何回か押して「トウバ イ 100%」を表示してから、**OK**キーを押します。

ズームを選んで、拡大または縮小する

1 **拡大/縮小**キーを2回押します。

例：
```
ズ ーム 50－200%
 －          100%        ＋
```

2 テンキーで、コピー倍率を入力します。

例：
```
ズ ーム 50－200%
 －           80%        ＋
```

- コピー倍率は、50～200%の範囲で1%単位で入力できます。
- テンキーで入力したあとでも、◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、コピー倍率を変更できます。倍率を大きくするには▶**(＋)**キー、小さくするには◀**(－)**キーを押します。

3 **OK**キーを押します。

例：
```
 80%                A4   01
◐□■□◗        モジ゛
```

メモ

- 2 in 1コピーとの組み合わせはできません。
- 100%に戻すには、**拡大/縮小**キーを何回か押して「トウバ イ 100%」を表示してから、**OK**キーを押します。

画質を変える

原稿の内容に合わせて、コピーの画質を変えることができます。3種類の画質モードが用意されています。

1 **画質**キーを押して画質モードを選びます。

例：

100%	A4	01
◐□■□◗ モジ゛／シャシン		

画質キーを押すたびに、画質モードは次のように変わります。

モジ → モジ/シャシン → シャシン → モジ

- 「モジ゛」
  文字原稿のコピーに適しています。青焼きや、薄い鉛筆書きの原稿でもきれいにコピーできます。
- 「モジ゛／シャシン」
  文字と写真が混在する原稿や、網点でつくられている写真原稿（印刷されている写真）のコピーに適しています。
- 「シャシン」
  印画紙にプリントされている写真のコピーに適しています。

メモ

- 「モジ゛／シャシン」または「シャシン」を選ぶと、自動的に手動濃度調節になります。
- 画像の白黒をくっきりとコピーするには、**ユーザモード**キーを押してから「コピ゜ー シヨウ セッテイ」の「シャープ゜ネス」を選んで画質を調節します（→9-3ページ）。

濃度を調節する

原稿に合わせてコピーの濃度を自動的に調節したり、お好みの濃度を選ぶことができます。

■ 自動濃度調節

1 **濃度**キーを押して、自動モードを選びます。

例：
```
ノウド
          ジ ド ウ
```

2 **OK**キーを押します。

例：
```
100%             A4    01
◐ A ◗         モジ
```

- 原稿に合わせて濃度が自動的に調節されます。

メモ
- 「ジ ド ウ」を選ぶと、画質モードは自動的に「モジ 」になります。

■ 手動濃度調節

1 **濃度**キーを2回押して、手動モードを選びます。

例：
```
ノウド
ーウスク ◐□□□□□■□□□□◗ コク+
```

2 **◀(−)**キーまたは**▶(+)**キーを押して、コピーの濃度を選びます。

- コピーの濃度を薄くするには**◀(−)**キーを、濃くするには**▶(+)**キーを押します。

例：
```
ノウド
ーウスク ◐□□□□□□■□□□□◗ コク+
```

3 **OK**キー を押します。

例：
```
100%             A4    01
◐□□■◗         モジ
```

メモ
- 濃度を薄く設定するとインジケータは左へ、濃く設定すると右へ移動します。

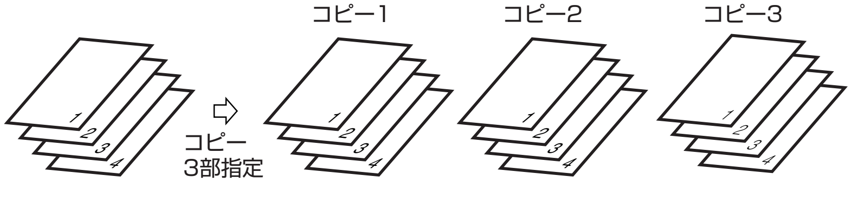
便利な機能を使ったコピー

本機には次のような便利なコピー機能があります。

- コピーした用紙を仕分ける（ソートコピー）
  ページぞろえを行い、出力します。
- 2 in 1コピー
  2枚のA4サイズの原稿を縮小して、1枚のA4サイズの用紙にコピーします。
- 予約コピー
  コピー出力中に次のコピーの予約ができます。

コピーした用紙を仕分ける（ソートコピー）

原稿が2枚以上でコピー部数が2部以上のときに、コピーした用紙をページ順に並べて仕分けることができます。



■ 原稿を原稿台ガラスにセットする場合

1 原稿面を下向きにして原稿台ガラスにセットします。

2 **ソート/2 in 1**キーを押します。

```
100% ソート        A4   01
◖□■□◗      モジ゛
```

- LCDディスプレイに「ソート」と表示されます。

3 テンキーでコピー部数を入力します（→5-3ページ）。

例：
```
100% ソート        A4   03
◖□■□◗      モジ゛
```

4 **スタート**キーを押します。

例：
```
ヨミコミ チュウ
コピ゜ー バ゛ンゴ゛ウ        0015
```

- 原稿の読みこみが始まります。

5 原稿の次のページを、原稿面を下向きにして原稿台ガラスにセットします。

```
ツギ゛ノ ペ゜ージ゛      :スタート キー
ヨミコミ シュウリョウ    :OK キー
```

6 **スタート**キーを押します。

- 手順5と手順6の操作を繰り返して、すべての原稿をメモリに読みこみます。

7 **OK**キーを押します。

- コピーが出力されます。

メモ
- 複数ページの原稿を読みこむと、読みこみ中に「メモリガ゛ イッパ゜イデ゛ス」と表示され、読みこみが中止する場合があります。原稿の枚数を減らすか、画質モードを「モジ゛／シャシン」または「シャシン」に設定しているときは「モジ゛」に変えてから、やり直してください。

■ 原稿をADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）にセットする場合

1 原稿面を上向きにしてADFにセットします。

2 **ソート/2 in 1**キーを押します。

```
100%  ソート          A4     01
◖□■□◗        モジ
```

- LCDディスプレイに「ソート」と表示されます。

3 テンキーでコピー部数を入力します（→5-3ページ）。

例：
```
100%  ソート          A4     03
◖□■□◗        モジ
```

4 **スタート**キーを押します。

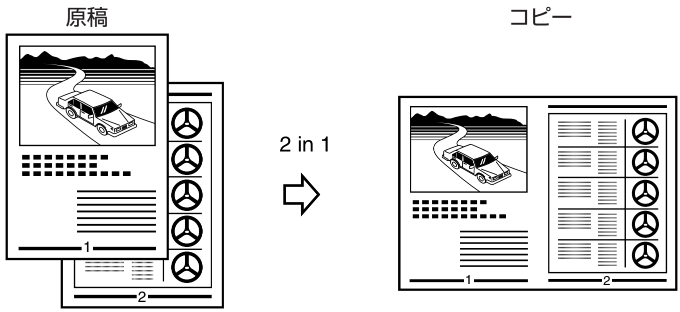
- 最初のページから1枚ずつ読みこまれます。読みこみが終わった原稿から順に排紙されます。

メモ
- 複数ページの原稿を読みこむと、読みこみ中に「メモリガ　イッパ゜イデ゛ス」「OKキーヲ　オシテクダ゛サイ」と表示され、原稿がADFの途中で止まることがあります。この場合は、残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押すと読みこみ中の原稿が1枚自動排紙されます。原稿の枚数を減らすか、画質モードを「モジ゛／シャシン」または「シャシン」に設定しているときは「モジ゛」に変えてから、やり直してください。

2 in 1コピー

2枚のA4サイズの原稿を自動的に縮小し、1枚のA4サイズの用紙にコピーします。

メモ
- 拡大/縮小機能との組み合わせはできません。
- カセットまたは手差しトレイの用紙がA4サイズ以外のときは、「ヨウシサイズ゛ガ゛ A4 デ゛ハアリマセン」と表示され、2 in 1コピーはできません。この場合は、カセットまたは手差しトレイにA4サイズの用紙をセットしてから、2 in 1コピーの操作をしてください。
- 2枚のレターサイズの原稿を1枚のレターサイズの用紙に2 in 1コピーするには、ユーザモードの「コピ゜ー シヨウ セッテイ」で「サイズ゛ ケイレツ」を「インチ」に設定し、カセットまたは手差しトレイにレターサイズの用紙をセットしてください。



■ 原稿を原稿台ガラスにセットする場合

1 **ソート/2 in 1**キーを2回押します。

例：
```
2in1            A4   01
◐□■□◑      モジ゛
```
- LCDディスプレイに「2in1」と表示されます。

2 テンキーでコピー部数を入力します（→5-3ページ）。

3 原稿の最初のページを、原稿面を下に向けて原稿台ガラスにセットします。

4 **スタート**キーを押します。

例：
```
ヨミコミ チュウ
コピ゜ー バ゛ンコ゛ウ        0015
```
- 原稿の読みこみが始まります。

5 原稿の次のページを、原稿面を下に向けて原稿台ガラスにセットします。

```
ツギ゛ノ ペ゜ージ゛   :スタート キー
ヨミコミ シュウリョウ :OK キー
```

6 **スタート**キーを押します。

- 原稿を2枚読みこむごとに、手順2で入力した部数のコピーが出力されます。
- 手順5と手順6の操作を繰り返して、すべての原稿をメモリに読みこみます。

7 **OK**キーを押して、2 in 1コピーを終了します。

メモ
- グラフィックや写真が多い原稿の2 in 1コピーを行うときに、「モジ゛」以外の画質モードを選ぶと、「メモリガ゛ イッパ゜イデ゛ス」が表示され、コピーが中止されることがあります。この場合は、画質モードを「モジ゛」に変えてください。ただし、画質モードを「モジ゛」に変えても、原稿によっては「メモリガ゛ イッパ゜イデ゛ス」が表示されて、コピーが中止されることがあります。読みこみ中の原稿はメモリからすべて消去されます。

■ 原稿をADFにセットする場合（D350のみ）

1 **ソート/2 in 1**キーを2回押します。

```
2in1           A4   01
◐□■□◗     モジ゛
```

- LCDディスプレイに「2in1」と表示されます。

2 原稿面を上に向けてADFにセットします。

3 テンキーでコピー部数を入力します
（→5-3ページ）。

4 **スタート**キーを押します。

メモ
- 原稿の読みこみ中に「メモリガ゛ イッパ゜イデ゛ス」と「OKキーヲ オシテクダ゛サイ」が表示され、原稿がADFの途中で止まることがあります。この場合は、残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押すと読みこみ中の原稿が1枚自動排紙されます。

予約コピー

コピー出力中に次のコピーを予約できます。

■ 次のコピーを予約する

1 コピー出力中に**ストップ/リセット**キーを2回押して、スタンバイ表示にします。

例：

```
100%          A4   01
◐□■□◗   モジ゛
```

メモ
- ADF*にセットしたすべての原稿の読みこみが終了してから、**ストップ/リセット**キーを押してください。
- 予約コピーの操作をするには、スタンバイ表示に戻す必要があります。

* D350のみ

2 予約する原稿を原稿台ガラスまたはADF*にセットします。原稿台ガラスには原稿面を下向きにして、ADF*には原稿面を上向きにしてセットしてください。

* D350のみ

3 必要に応じて、次のコピー機能を設定できます。

- コピー部数（→5-3ページ）
- 拡大/縮小（→5-5ページ）
- 画質（→5-6ページ）
- 濃度（→5-7ページ）
- ソートコピー（→5-8ページ）
- 2 in 1コピー（→5-10ページ）

4 **スタート**キーを押します。

- 原稿の読みこみが始まります。

メモ
- 出力中のコピーがすべて出力されてから、次に予約したコピーの出力が始まります。
- 原稿の読みこみ中にメモリがいっぱいになると、「メモリガ゛ イッパ゜イデ゛ス」と「OKキーヲ オシテクダ゛サイ」*が表示されます。ADF*を使って読みこんでいるときは、読みこみ中の原稿がADF*の途中で止まります。この場合は、残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押すと読みこみ中の原稿が1枚自動排紙されます。「メモリガ゛ イッパ゜イデ゛ス」と「OKキーヲ オシテクダ゛サイ」*が表示された場合は、読みこみ中の原稿はメモリからすべて消去されます。原稿を分けてコピーするか、画質モードを「モジ゛/シャシン」または「シャシン」に設定しているときは「モジ゛」に変えてから、コピーをやり直してください。
- ADF*からの原稿の読みこみ中にメモリの残量が少なくなると、「ヨミコミ チュウ」「メモリガ゛ アクノヲ マッテイマス」と「シバ゛ラク オマチクダ゛サイ」が交互に表示されます。メモリに空きができると、自動的に読みこみが再開します。
- 「メモリガ゛ アクノヲ マッテイマス」が長いあいだ表示されている場合は、カセットや手差しトレイに用紙が入っているか確認してください。入っていない場合は、用紙を補給してください。

* D350のみ

■ 予約コピーを確認する

1 コピー出力中に**ストップ/リセット**キーを押します。

例：
```
チュウシスルコピ゜ージ゛ョブ゛ヲセンタク
*0044              02×30
```

- 02：原稿枚数
- 30：コピー枚数
- 0044：受付番号
- *：出力中
  空欄：待機中
  ー：紙なしまたは紙づまり

2 ◀**(ー)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、受付番号と原稿枚数を確認します。

メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

■ 予約コピーを消去する

1 コピー出力中に**ストップ/リセット**キーを押します。

例：
```
チュウシスルコピ゜ージ゛ョブ゛ヲセンタク
*0044              02×30
```

2 ◀**(ー)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、消去したい予約コピーを表示します。

例：
```
チュウシスルコピ゜ージ゛ョブ゛ヲセンタク
 0045              01×20
```

3 **OK**キーを押します。

```
コピ゜ーヲ チュウシ シマスカ?
 <ハイ              イイエ>
```

4 ◀**(ー)**キーを押して「ハイ」を選びます。

- 予約コピーが消去されます。

メモ
- 予約コピーの消去を中止するには、▶**(+)**キーを押して「イイエ」を選びます。
- 消去した予約コピーを復帰させることはできません。
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

6章

システムモニタ

コピー／ファクス*／印刷／レポート*ジョブの状況をチェックする

システムモニタは、ジョブの確認と消去に使います。
システムモニタを使うと、ジョブは各モードで次の順番でLCDディスプレイに表示されます。

コピーモード	ファクスモード*
「コピ゜ー ジ゛ョウキョウ」	「ファクス ジ゛ョウキョウ」
「ファクス ジ゛ョウキョウ」*	「コピ゜ー ジ゛ョウキョウ」
「プ゜リント ジ゛ョウキョウ」	「プ゜リント ジ゛ョウキョウ」
「レポ゜ート ジ゛ョウキョウ」*	「レポ゜ート ジ゛ョウキョウ」

- 「ファクス ジ゛ョウキョウ」*については、「ファクスガイド」*を参照してください。

* D350のみ

コピージョブを確認／消去する

1 **システムモニタ**キーを押します。

例：
```
コピ゜ー ジ゛ョウキョウ
*0002          06×01
```

メモ
- ジョブがない場合は、「コピ゜ー ジ゛ョブ ハ アリマセン」と表示されます。

2 ◀ **(−)** キーまたは ▶ **(＋)** キーを押して、ジョブ番号とコピー枚数を確認します。

例：
```
コピ゜ー ジ゛ョウキョウ
 0003          03×02
```

メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

3 コピージョブを消去したい場合は、**OK**キーを押します。

```
コピ゜ーヲ チュウシ シマスカ?
 <ハイ              イイエ>
```

4 ジョブの消去を確定する場合は、◀ **(−)** キーを押して「ハイ」を選びます。

メモ
- ジョブの消去を中止するには、▶ **(＋)** キーを押して「イイエ」を選びます。
- 消去したジョブを復帰させることはできません。
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

印刷ジョブを確認／消去する

1 **システムモニタ**キーを3回押します。

例：
```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ
*  ______________
```
出力中　ファイル名

メモ
- ジョブがない場合は、「ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾞｮﾌﾞ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。

2 ◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して、ファイル名を確認します。

例：
```
ﾌﾟﾘﾝﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ
________________
```

メモ
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

3 印刷ジョブを消去したい場合は、**OK**キーを押します。

```
ﾌﾟﾘﾝﾄｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 <ﾊｲ              ｲｲｴ>
```

4 ジョブの消去を確定する場合は、◀**(−)**キーを押して「ﾊｲ」を選びます。

メモ
- ジョブの消去を中止するには、▶**(+)**キーを押して「ｲｲｴ」を選びます。
- 消去したジョブを復帰させることはできません。
- LCDディスプレイには文字をASCIIコードで表示できます。ファイル名にASCIIコード以外の文字が使われていると、文字化けすることがあります。
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

レポートジョブを確認／消去する（D350のみ）

1 **システムモニタ**キーを4回押します。

例：
```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ
*00 ﾕｰｻﾞ ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
```

メモ
- ジョブがない場合は、「ﾚﾎﾟｰﾄ ｼﾞｮﾌﾞ ﾊ ｱﾘﾏｾﾝ」と表示されます。
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

2 1つしかないレポートジョブを消去したい場合は、**OK**キーを押します。

```
ﾚﾎﾟｰﾄｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 <ﾊｲ              ｲｲｴ>
```

3 ジョブの消去を確定する場合は、◀**(−)**キーを押して「ﾊｲ」を選びます。

4 レポートジョブが複数ある場合は、◀**(−)**キーまたは▶**(+)**キーを押して消去したいジョブを選びます。

例：
```
ﾚﾎﾟｰﾄ ｼﾞｮｳｷｮｳ
 02 ﾕｰｻﾞ ﾃﾞｰﾀﾘｽﾄ
```

5 **OK**キーを押します。

```
ﾚﾎﾟｰﾄｦ ﾁｭｳｼ ｼﾏｽｶ?
 <ﾊｲ              ｲｲｴ>
```

6 ジョブの消去を確定する場合は、◀**(−)**キーを押して「ﾊｲ」を選びます。

メモ
- ジョブの消去を中止するには、▶**(+)**キーを押して「ｲｲｴ」を選びます。
- 消去したジョブを復帰させることはできません。
- スタンバイモードに戻るには、**ストップ/リセット**キーを押します。

7章

メンテナンス

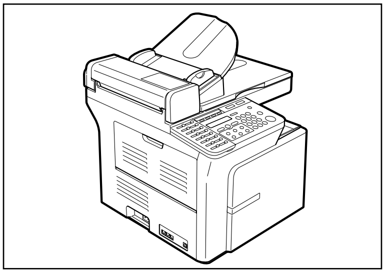
清掃する

本機には定期的なメンテナンスが必要です。ここでは本機の清掃について説明します。本機を清掃するときは、次の点に注意してください。

注意
- **本体外側や原稿台を清掃する前に必ず電源コードを抜いてください。**
- **D350をお使いの場合は、電源コードを抜く前に、メモリに保存されている受信したファクスをすべて印刷してください。電源コードを抜くと、約1時間でメモリ内の原稿が消去されてしまいます（→「ファクスガイド」）。**
- **清掃には、ティッシュペーパーやペーパータオルは使わないでください。部品に紙の粉が付いたり、静電気の原因になることがあります。**
  部品を傷つけないように、柔らかい布を使用してください。
- **本体を清掃するときは、シンナー、ベンジン、アセトン、化学性洗剤などの揮発性の化学薬品は絶対に使わないでください。本体が変色したり、故障の原因になります。**

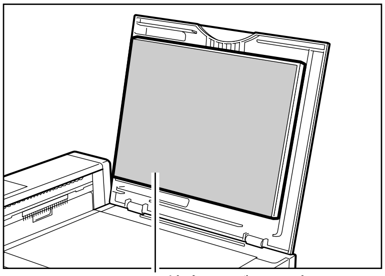
本体外側の清掃

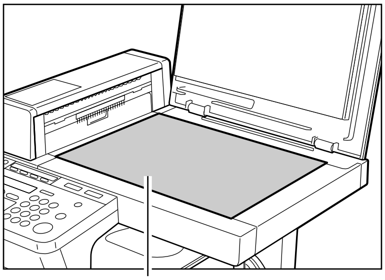
水または食器洗い用の中性洗剤を水で薄めた液に布を浸し、固くしぼってから本体外側をていねいに拭きます。清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を使用してください。



原稿台の清掃

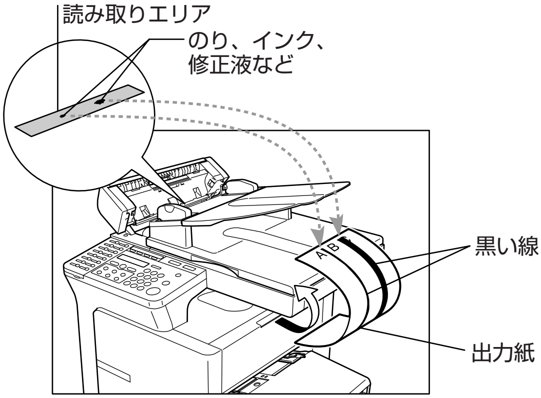
布を水で湿らし、固くしぼってから、原稿台カバーの裏面と原稿台ガラス（　　　の部分）を拭きます。清潔で柔らかく、糸くずの出ない布を使用してください。

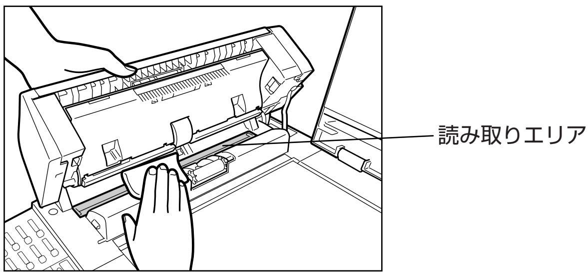




■ ADFの読み取りエリアの清掃（D350のみ）

ADF（自動原稿給紙装置）で原稿を読みこんだとき、コピーに黒い線があらわれることがあります。これは、ADFの読み取りエリア（　　　の部分）に付着したのりやインク、修正液、その他の汚れが原因ですので、読み取りエリアを清潔で柔らかい布で拭いてください。特に、黒い線があらわれた位置を重点的に拭いてください。
汚れが落ちにくいときは、水または中性洗剤を少し含ませた布で拭き、そのあと乾いた清潔な布で拭いてください。





重要

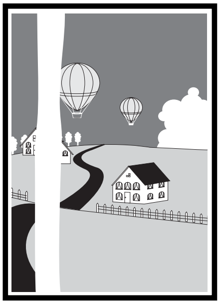
- のりやインク、修正液などが完全に乾いていない原稿をADFで読みこむと、上の図のようにADFの読み取りエリアに、のりやインク、修正液などが付着して、コピーに黒い線があらわれます。ADFに原稿をセットするときは、必ず、のりやインク、修正液などが完全に乾いてからセットしてください。

カートリッジ交換の目安

カートリッジは消耗品です。トナーがなくなったときは新しいカートリッジと交換します。
次のような場合は新しいカートリッジを用意し、必要に応じてカートリッジを交換してください。

出力紙にすじが出たり、帯状に薄くなる場合、またはLCDディスプレイに「カートリッシ゛ カ゛ カラニ ナリマシタ」*と表示されたときは、カートリッジ内のトナーが残り少なくなっています。

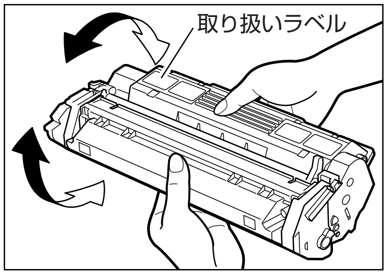
* D350のみ



紙の進行方向

↓

カートリッジを本体から取り出し、図のように左右に5、6回傾けて中のトナーを均一にします。
カートリッジを本体に戻し、コピーや印刷をします。



普通にコピーがとれる

↓

使用中のカートリッジ内のトナーが残り少なくなっています。新しいカートリッジを用意してください。

コピー面に白スジが出たまま
帯状に薄くなったまま

↓

新しいカートリッジと交換してください（→7-6ページ）。

出力枚数について

ここでは、1個のカートリッジで出力できる最大枚数について説明します。

■ カートリッジごとの出力枚数の目安

カートリッジ W　　A4 5% 標準原稿*で約3500枚

* A4 5%標準原稿とは、A4サイズを100%とした場合に黒の部分が5%に相当する原稿のことをいいます。

- 実際に出力できる枚数はコピー濃度や印刷濃度、使用環境（温度、湿度）、原稿の余白の量などによって変わります。
- 写真や黒の部分が多い原稿を大量にコピーした場合や、原稿台カバーを開けたままコピーをとった場合には、カートリッジ内のトナーの消費量が多くなるため、出力できる枚数が目安の枚数より少なくなります。
- 小さいサイズの原稿、印字や黒の部分が少ない原稿を大量にコピーした場合は、目安より多くの枚数を出力できますが、黒いスジなどが出ることがあります。

カートリッジの取り扱い・保管

きれいなコピーをおとりいただくため、以下のことにご注意ください。

■ カートリッジの取り扱い

注意

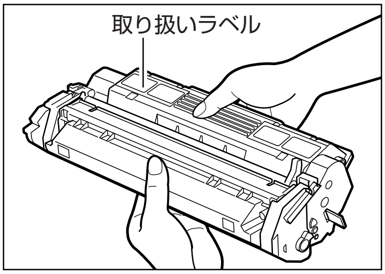
- **カートリッジを火中に投じないでください。カートリッジ内部にあるトナーに引火し、カートリッジが燃えて、やけどや火災の原因になります。**
- **カートリッジからは微弱な磁気が出ています。心臓ペースメーカーをご使用の方は、異常を感じたらカートリッジから離れてください。そして、医師にご相談ください。**
- **カートリッジからトナーが漏れたときは、吸い込んだり直接皮膚につけたりしないように注意してください。皮膚についた場合は、石鹸を使い水で洗い流し、刺激が残る場合や吸い込んだ場合には直ちに医師に相談してください。**
- **カートリッジを本体から取り外すときは、トナーが飛び散って目や口などにトナーが入らないように、丁寧に取り出してください。トナーが目や口に入った場合は、直ちに水で洗い流し、医師と相談してください。**

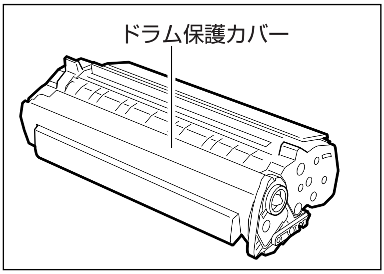
重要

- カートリッジを分解したり、ドラム保護カバーを開いたりしないでください。

メモ

- 寒い戸外から暖かい部屋に本機を持ちこんだり、部屋を急に暖めたりすると、本機内部に水滴がつき（結露現象）、コピー画像に支障をきたす（たとえば、コピーがまっ黒になる）ことがあります。
  その場合は、本機を2時間以上放置して、室温になじませてからご使用ください。
- カートリッジを持つときは、図のように取り扱いラベルのある面を上にして持ってください。また、カートリッジ下部のドラム保護カバーを強く押さえたり、動かしたりしないでください。





■ カートリッジの保管

警告

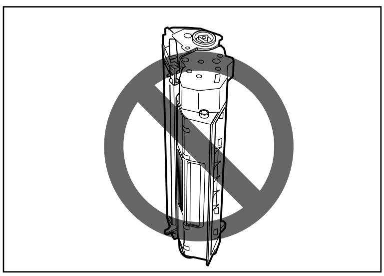
- **カートリッジやコピー用紙は火気のある場所に保管しないでください。トナーやコピー用紙に引火して、やけどや火災の原因になります。**

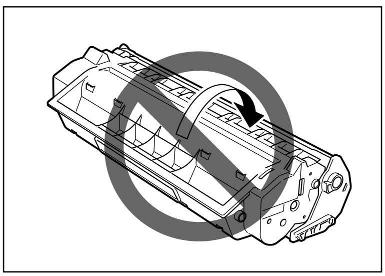
注意

- **カートリッジなどの消耗品は幼児の手が届かないところに保管してください。カートリッジ内のトナーを飲んだ場合は、直ちに医師と相談してください。**

重要

- 交換用の新しいカートリッジは、開封せずに、直射日光を避けて保管してください。
- 開封後のカートリッジは、取り扱いラベルのある面を上にして、お買い上げのときに入っていた保護袋と保管箱に入れ、直射日光を避けて保管してください。保護袋がない場合は、取り扱いラベルのある面を上にして、必ず暗いところで保管してください。
- ストーブや加湿器などの前は避けて保管してください。40℃をこえない所で保管してください。
  - 望ましい保管環境　温度：15℃～27℃、相対湿度：20%～80%
- 立てたり、上下を逆にして保管しないでください。





■ 使い切っていないカートリッジの保管

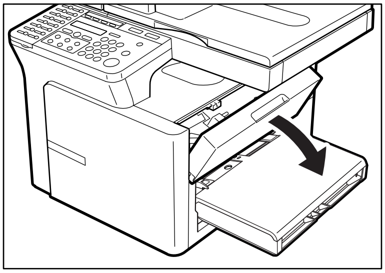
本機から取りはずしたカートリッジは、取り扱いラベルのある面を上にして、お買い上げのときに入っていた保護袋と保管箱に入れて保管してください。保管箱のフタはしっかり閉めてください。
保護袋や保管箱がない場合は、必ず暗いところで保管してください。

7
メンテナンス

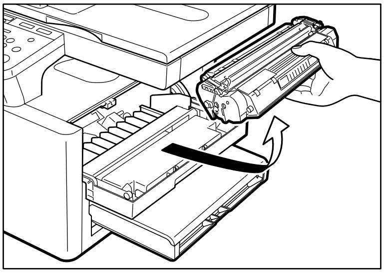
カートリッジを交換する

カートリッジの取り出しかたと新しいカートリッジのセットのしかたを説明します。カートリッジを交換するときは、「カートリッジ交換の目安」（→7-3ページ）も参照してください。

1 右カバーを開けます。

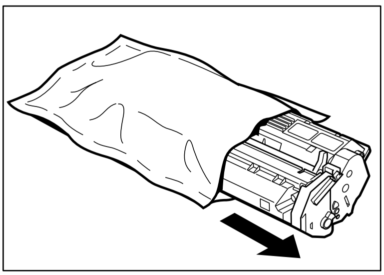


2 カートリッジを本体から取り出します。

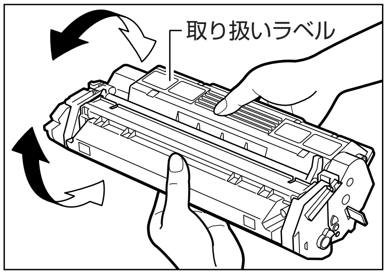


3 新しいカートリッジを保護袋から取り出します。

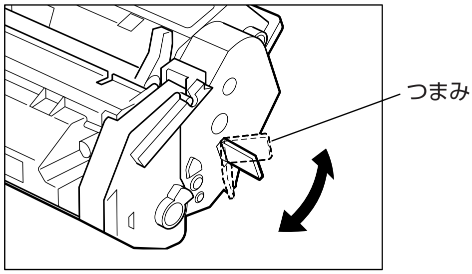
メモ
- カートリッジを保管するときは、この袋をお使いください。



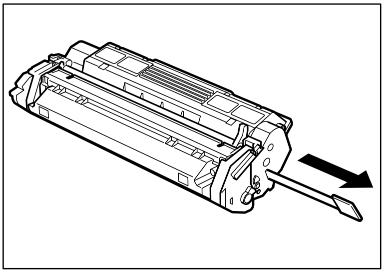
4 新しいカートリッジを左右に5、6回傾けて、中のトナーを均一にします。



5 カートリッジを水平で安定した台の上に置き、開封シールのつまみを持ち、次の図のように左右に曲げます。つまみがカートリッジからはずれたことを確認してください。

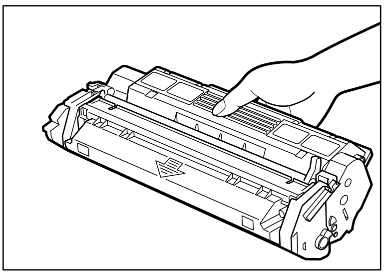


6 一方の手でカートリッジを押さえ、もう一方の手で開封シールのつまみをしっかりと持ち、ゆっくり引き抜きます。引き抜いた開封シールは捨てます。



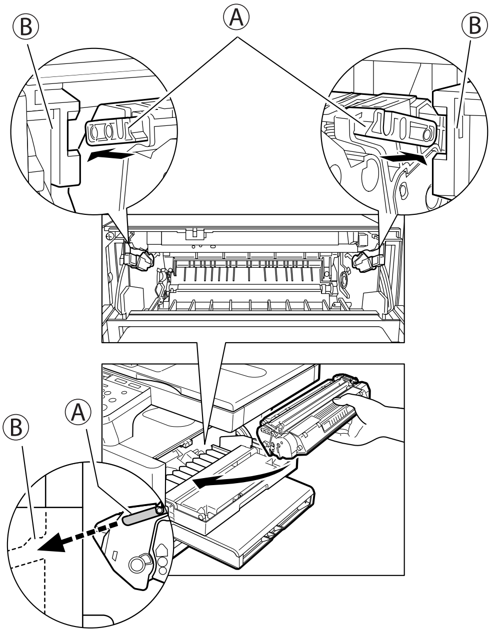
重要
- 開封シールは必ず引き抜いてください。引き抜かないと出力された用紙にトナーが定着せず、白紙で出力されます。
- 開封シールが途中で切れないように、シールは斜めに引っ張らないでください。

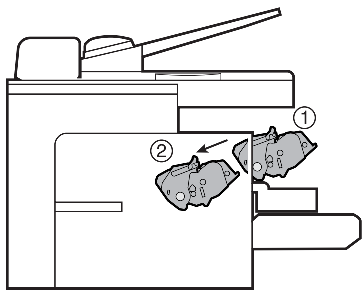
7 次の図のようにカートリッジを持ち、カートリッジに表示されている矢印を本体内部に向けます。



重要
- ドラム面には触れないでください。印刷品質が低下する原因になります。

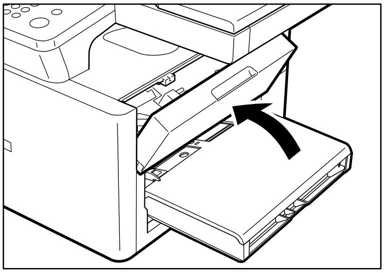
8 カートリッジの両側の突起Ⓐを本体のガイドⒷに合わせ（位置①）、右カバーが少し持ち上がるまで、カートリッジを本体内部へゆっくり滑らせます（位置②）。

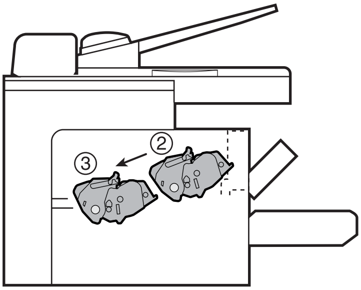




重要
- カートリッジを動かすと、右カバーも動きます。カートリッジは、位置②より奥に押しこまないでください。手を右カバーに挟まれるおそれがあります。

9 右カバーを閉じると、カートリッジは所定の位置（位置③）にセットされます。





メモ

- LCDディスプレイに「ｶｰﾄﾘｯｼﾞ ｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞ ｻｲ」と表示される場合は、本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。

使用済みカートリッジ回収のお願い

Canon

キヤノンでは、資源の再利用のために、使用済みカートリッジの回収を推進しています。この回収活動は、お客様のご協力によって成り立っております。

つきましては、キヤノンによる“環境保全と資源の有効活用”の取り組みの主旨にご賛同いただき、回収にご協力いただける場合には、ご使用済となったカートリッジを、お近くの回収窓口までお持ちくださいますようお願いいたします。

キヤノンマーケティングジャパンではご販売店の協力の下、全国に3000拠点をこえる回収窓口をご用意いたしております。

また回収窓口に店頭用カートリッジ回収スタンドの設置を順次進めております。



回収窓口につきましては、下記のキヤノンのホームページ上で確認いただけます。

キヤノンサポートページ　http://canon.jp/support

事情により、回収窓口にお持ちになれない場合は、使用済みカートリッジをビニール袋などに入れ、地域の条例にしたがい処分してください。

梱包と運搬

本機を運ぶ前には必ず電源コンセントから電源コードを抜いてください。また、電源コードは本体からはずしてください。長距離輸送などで本機が大きく振動するおそれがあるときは、次の手順を行ってください。下記手順にしたがわない場合、コピー画像の悪化や故障の原因になることがありますので、ご注意ください。

1 電話機やパソコンと接続してある場合は、モジュラージャックコードやプリンタケーブルをはずします。

2 電源コンセントから電源コードを抜きます。

3 右カバーを開けます。

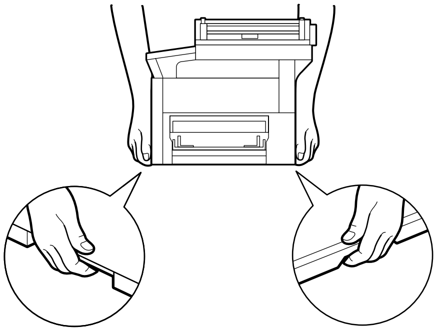
4 カートリッジを静かに本体から引き抜きます。カートリッジはお買い上げのときにカートリッジが入っていた保護袋など、光の入らない袋に入れ、直射日光が当たらないようにします。

5 右カバーを閉じます。

6 原稿積載トレイをはずします。

7 カセットと手差しトレイをはずします。

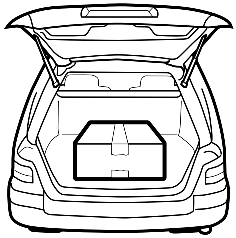
■ 水平にしたまま運ぶとき



カセットや手差しトレイ、原稿積載トレイをはずします。
上の図のように、本体側面にある把手をしっかりつかんで、ゆっくりと持ち上げます。

注意
- **本機を持ち運ぶときは、上の図に示された箇所を持ってください。他の場所を持つと本機を落として、けがの原因になることがあります。**

■ 自動車などで運ぶとき（お引っ越しなどのとき）



お買い上げになったときに本機が入っていた箱と梱包材を使って梱包してください。
車内の水平で安定したところに置いてください。

重要

- 車内は想像以上に高温または低温になることがありますので、長時間車内に放置しないでください。
- 悪路走行などによる激しい振動は避けてください。輸送の際の大きな振動がコピー画像の悪化や故障の原因になることがあります。
- 本機をカバーで覆い、直射日光が当たらないようにしてください。
- 本機を運ぶときは、お買い上げになったときに入っていた箱をお使いください。
- 本機が入っていた箱を使って梱包するとき、ADF*／原稿台カバーの上に電源コードなどを置かないでください。ADF*や原稿台ガラスの損傷の原因になります。

* D350のみ

保証および保守サービス

保証書

製品には保証書が添付されています。必要な事項が記入されているかどうかご確認の上、大切に保管してください。万一の故障のときの本体無償修理期間はご購入後1年間です。
ただし、消耗品類（紙類、カートリッジ等）は、保証の対象とはなりません。

保証内容

ご愛用の手引き、本体注意ラベルなどの注意書きにしたがった正常な使用状態で保証期間内に、万一故障した場合は、機械本体、保証書と一緒にお買い求めの販売店、または弊社までご持参あるいはお送りいただければ、無料で修理いたします。この場合の交通費、送料および諸掛かりはお客様のご負担となります。なお、出張修理をご希望される場合は、別途出張料金を申し受けます。詳細は保証書の内容をご確認ください。

部品の保有期間

補修用性能部品（製品の性能を維持するために必要な部品）の保有期間は、本体製造打ち切り後7年間です。

保守サービス

本機を良好な状態でお使いいただくために、次の2種類の保守サービスを用意していますのでご利用ください（詳細は販売店にお問い合わせください）。

- スポットサービス方式
  お客様の要請に応じて、そのつど有料で保守サービスをいたします。
- 年間保守契約方式
  一定の年間保守料金で、機械（カートリッジ除く）が故障した場合の保守サービス、ならびに必要な場合の部品交換をいたします。

お問い合わせのときは

機械の故障などでサービス担当にお問い合わせの際には、「どうしても問題が解決しないとき」（→8-15ページ）を参照し、故障内容を詳しくお知らせください。

お願い

- 本機、ならびに関連する消耗品、サービス役務等につきましては、別途消費税を申し受けますのでご了承ください。
- その他アフターサービスなどについてご不明な点がありましたら、お買い求めの販売店、サービス店またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にお問い合わせください。

8章

困ったときには

紙づまりが起きたときには

ここでは、紙づまりの処理のしかたを説明します。

本体内部での紙づまり

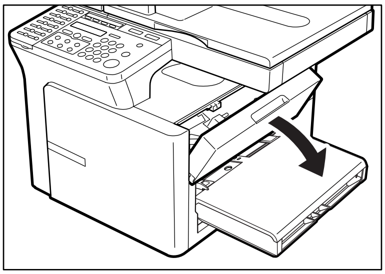
本体内部で紙づまりが起こると、LCDディスプレイに「ﾖｳｼｶﾞ　ﾂﾏﾘﾏｼﾀ」と表示されます。

注意
- **本機内部やカートリッジには、高温、高圧になる部分があります。内部を点検するときは、これらの部分に手を触れないようにご注意ください。やけどや感電の原因になることがあります。**

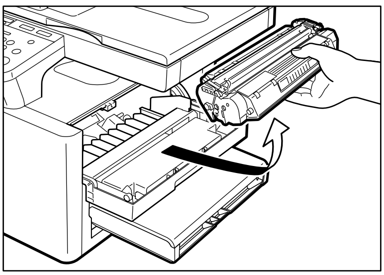
メモ
- つまった用紙を本機内部から取り除くときは、用紙上のトナーが衣服や手に触れないようにご注意ください。衣服や手が汚れた場合は、すぐに水で洗い流してください。温水で洗うとトナーが定着し、汚れが取れなくなることがあります。

■ 給紙中の紙づまり

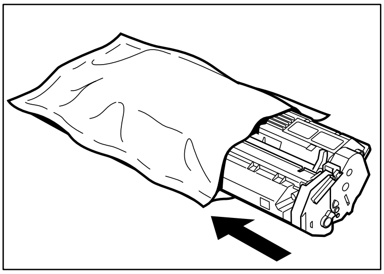
1 右カバーを開けます。カセットや排紙トレイに用紙が残っている場合は、取り出してください。



2 カートリッジを取りはずします。

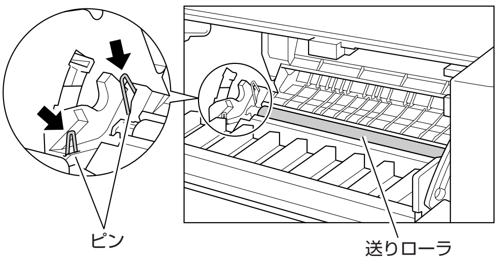


メモ
- カートリッジは、光に5分以上さらさないでください。5分以上カートリッジを取りはずしておくときは、お買い上げのときに入っていた保護袋に入れるか、厚い布でカートリッジを包んで、光が当たらないようにしてください。



重要

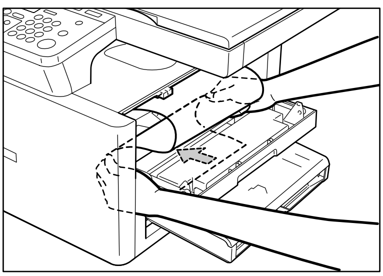
- 本体内部の作業をするときは、腕時計、ブレスレット、指輪などをはずしてから行ってください。本体内部の部品と接触すると、やけどや感電の原因になることがあります。
- 送りローラ（　　　部分）の表面は非常に弱く、指脂が付着したり傷ついたりすると動作に影響するおそれがあるため、つまった用紙を取り除くときは、ローラに触れないようにご注意ください。コピー品質低下の原因となることがあります。
- 送りローラの左端付近のピンに触れると、プリンタが損傷するおそれがあります。



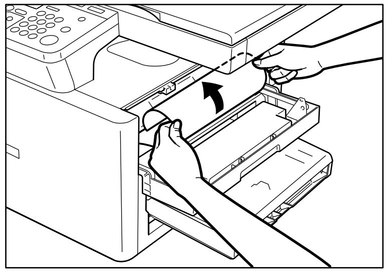
3 本機からつまった用紙を取り除きます。

■ 用紙の先端が見えない場合

つまった用紙の左右の端を持って、本体奥側へ慎重に用紙を引っ張り、カセットからゆっくり引き抜きます。

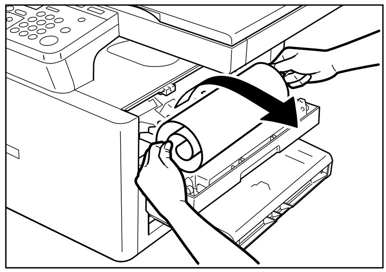


用紙を、印刷面が内側になるように先端から丸めて、本体からゆっくり引き抜きます。



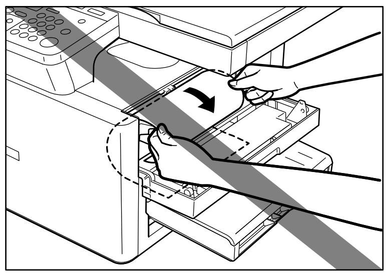
■ 用紙の先端が見え、かつ印字も開始されていない場合

手前へ用紙を引っ張って、内側へ丸めます。



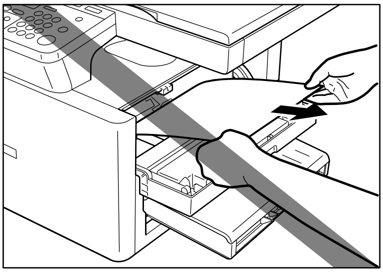
重要

- つまった用紙がカセットに入っている状態のときは、手前へ用紙を引っ張らないでください。本機の故障の原因となることがあります。



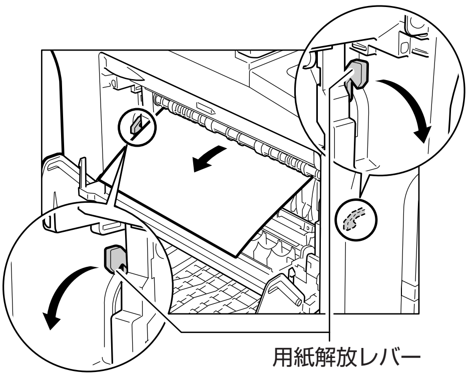
重要

- つまった用紙を上へ引っ張らないでください。用紙上のトナーによってプリンタの内部が汚れ、コピー品質が低下する原因になります。

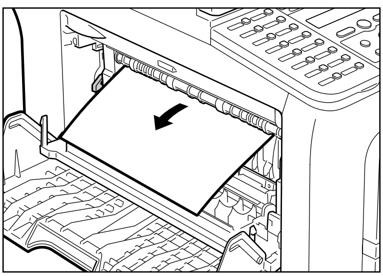


■ 用紙への印字が開始されている場合

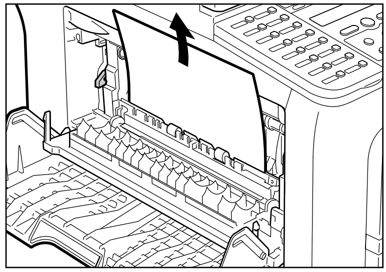
左カバーを開け、左右両側にある緑色の用紙解放レバーを押し下げます。



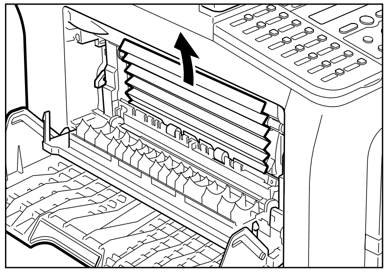
排紙ローラに挟まった用紙をゆっくり引っ張って、先端が本体から出るようにします。



ローラに挟まった用紙を慎重にまっすぐ引っ張って、本体から取り除きます。



- つまった用紙にアコーディオンの蛇腹のようなひどい折り目が入っている場合は、用紙をゆっくり引っ張って、プリンタから取り除いてください。



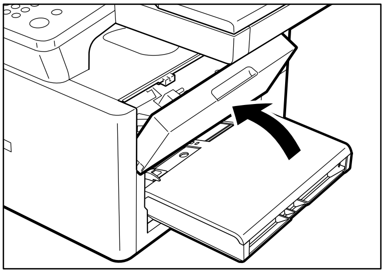
用紙解放レバーを元の位置に戻し左カバーを閉じます。

重要

- 用紙解放レバーは、必ず元の位置に戻してください。レバーが押し下げられた状態のままでは、紙づまりは解消されません。
- 印刷中は用紙解放レバーを押し下げないでください。定着部が損傷するおそれがあります。

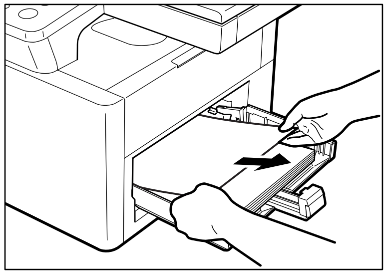
4 カートリッジを本体に戻し、右カバーを閉じます。

- 詳細については、「カートリッジを交換する」（→7-6ページ）を参照してください。

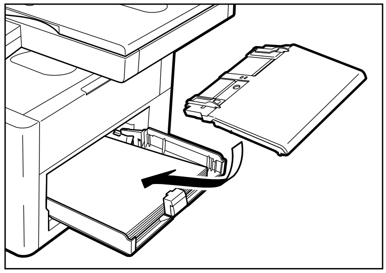


重要
- カートリッジを戻して右カバーを閉じると、紙づまりは解消され、本機はスタンバイ表示になります。
- スタンバイ表示にならない場合は、用紙解放レバーが元の位置に戻っているか、つまった用紙は他にないかを確認してください。

5 手差しトレイをはずします。つまった用紙の左右の端を持って、手前へまっすぐに引っ張り本体から取り除きます。



6 手差しトレイをカセット上に沿うように、カチッと音がするまで差し込みます。



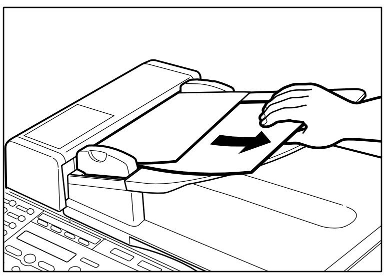
ADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）での紙づまり

ADFで紙づまりが起こると、LCDディスプレイに「ゲ゛ンコウヲ テンケン シテクダ゛サイ」と「ゲ゛ンコウガ゛ ナガ゛スギ゛マス」が表示されます。

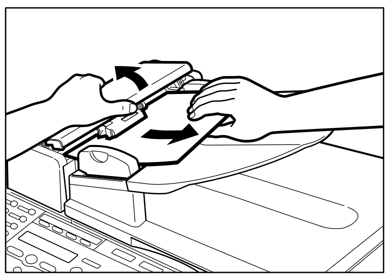
メモ
- つまった原稿を取り除くまでは、原稿台カバーを開けないでください。原稿が傷つくおそれがあります。

原稿給紙トレイの方から取り出せる場合

1 原稿を複数枚ADFにセットしている場合は、残りの原稿を取り除きます。



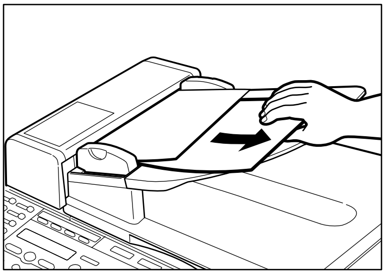
2 ADFを少し開けて、つまった原稿を原稿給紙トレイの方に引っ張って取り除きます。



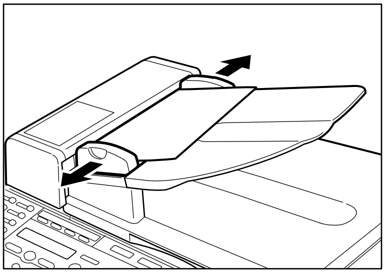
メモ
- つまった原稿を取り除き、原稿の端をそろえてからADFにセットしてください。

■ ADFを完全に開いて取り出す場合

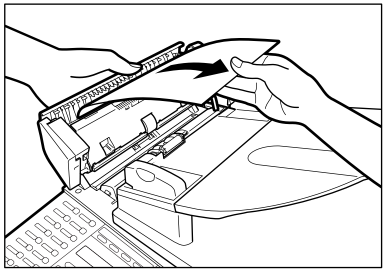
1 原稿を複数枚ADFにセットしている場合は、残りの原稿を取り除きます。



2 スライドガイドをいっぱいに開きます。



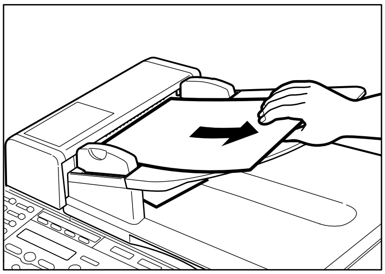
3 原稿がスライドガイドに引っ掛からないようにしてADFを開けて、つまった原稿をゆっくり引っ張ってADFから取り除きます。



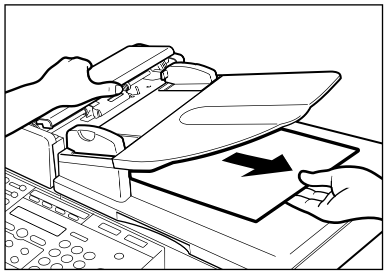
メモ
• つまった原稿を取り除き、原稿の端をそろえてからADFにセットしてください。

■ 原稿排紙トレイ側に原稿がつまっている場合

1 原稿を複数枚ADFにセットしている場合は、残りの原稿を取り除きます。



2 ADFを開け、つまった原稿をゆっくり引っ張って原稿排紙トレイから取り除きます。



メモ
• つまった原稿を取り除き、原稿の端をそろえてからADFにセットしてください。

メッセージとその内容

本機が動作中のときや、エラーが発生したときは、LCDディスプレイに次のようなメッセージが表示されます。
ここでは、一般的なメッセージとコピー／印刷に関するメッセージについて説明します。ファクスに関するメッセージについては、「ファクスガイド」を参照してください。

メッセージ	内容	対処方法
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｶﾞ ｶﾗﾆ ﾅﾘﾏｼﾀ*	カートリッジのトナーが空になりました。	新しいカートリッジと交換してください（→7-6ページ）。
ｶｰﾄﾘｯｼﾞｦ ｾｯﾄ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	カートリッジがセットされていないか、セットが不完全です。	カートリッジを正しくセットしてください（→7-6ページ）。
ｹﾞﾝｺｳｶﾞ ﾅｶﾞｽｷﾞﾏｽ*	ADF*を使ってコピーをする場合、原稿の長さが356mmを超えているか、原稿が正しく送られていません。	原稿の長さを356mm以内にしてから、コピーしてください。
	ADF*内で原稿がつまっています。	ADF*から原稿を取り除きます（→8-5ページ）。 原稿の長さが適切であるか確認してください（→3-1ページ）。 そのあと、本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。
ｹﾞﾝｺｳｦ ｾｯﾄｼﾅｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ*	ADF*を使って複数枚コピーしているとき、**ストップ/リセット**キーを押し残りの原稿を取り除かずに**OK**キーを押すとエラーが発生します。	ADF*から原稿を取り出し、再びセットしなおしてください。（→3-4ページ）。
	「ｹﾞﾝｺｳｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ」のメッセージ表示後、原稿を正しくセットしないで**スタート**キーを押すとエラーが発生します。	ADF*から原稿を取り出し、用紙をさばいてから、机などの平らな面で端をそろえ、再びセットしなおしてください（→3-4ページ）。
ｹﾞﾝｺｳｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ*	ADF（自動原稿給紙装置）*内で原稿がつまっています。	ADF*から原稿を取り除きます（→8-4ページ）。 原稿の長さが適切であるか確認してください（→3-1ページ）。 そのあと、本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。
	ADFローラ*が空回りしています。	原稿を取り出し、用紙をさばいてから、机などの平らな面で端をそろえてください。
ｽﾄｯﾌﾟｷｰｶﾞ ｵｻﾚﾏｼﾀ* OKｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ	ADF*にセットした原稿の読みこみ中に**ストップ/リセット**キーが押されたため、ADF*の途中で原稿が止まりました。	残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押すと読みこみ中の原稿が1枚自動排紙されます。
ﾄﾚｲｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ	排紙トレイがいっぱいです。	排紙トレイにある紙を取り除いてください。

＊ D350のみ

メッセージ	内容	対処方法
ﾌﾟﾘﾝﾀｴﾗｰ Ｅｘｘｘ**	何らかのエラーが発生しました。	電源コードを電源コンセントから抜き、約3分〜5分待ってから電源コードを電源コンセントに差し込み直してください。それでも同じメッセージが表示されるときは、電源コードを電源コンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。
ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾃﾞｰﾀｴﾗｰ	本機とパソコンの間のデータ転送でエラーが発生しました。	システムモニタを使って、現在の印刷ジョブか、（複数のジョブを印刷している場合は）最後の印刷ジョブを消去してください。この操作によって次のジョブが印刷されます。ユーザモードの「ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾘｾｯﾄ」を使うと、印刷ジョブはすべて消去されてしまいます。
ﾌﾟﾘﾝﾀｦ ﾃﾝｹﾝ ｼﾃｸﾀﾞｻｲ	プリンタ部でエラーが発生しました。	本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。メッセージがまだ表示される場合は、電源コードを電源コンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。
ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ (OKｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ)	大量の原稿、または画像や文字の多い原稿をソートコピー、2 in 1コピーまたは予約コピーしようとして、メモリがいっぱいになりました。	原稿を何回かに分けてコピーしてください。 ADF*を使って原稿を読みこんでいるときに「ﾒﾓﾘｶﾞ ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」と「OKｷｰｦ ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」が表示されると、読みこみ中の原稿がADF*の途中で止まります。この場合は、残りの原稿を取り除いて**OK**キーを押すと読みこみ中の原稿が1枚自動排紙されます。
ﾔﾘﾅｵｼﾃ ｸﾀﾞｻｲ*	レポートの印刷中に、以下のいずれかの問題が発生しました。 • カセットの用紙がなくなった • トナーがなくなった • 紙づまりが発生した • 用紙サイズの設定が誤っていたため、印刷が中止された	左記の原因に応じて、次のどれかを行います。 • カセットに用紙をセットする（→2-3ページ） • カートリッジを交換する（→7-6ページ） • 紙づまりを処理する（→8-1〜8-5ページ） • 用紙サイズを正しく設定する（→5-3〜5-4ページ） そのあと、もう一度印刷してください。

* D350のみ
** ｘｘｘは番号を表します。

メッセージ	内容	対処方法
ﾖｳｼｶﾞ ｱﾘﾏｾﾝ	カセットまたは手差しトレイの用紙がなくなりました。	カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしてください（→2-3〜2-8ページ）。 カセットの用紙の量がカセットの容量を超えないように注意してください。 手差しトレイにはA4（64g/㎡）で10枚、その他は1枚セットしてください（→2-6〜2-7ページ）。 コピー中に用紙を補給するときは、必ず同一サイズの用紙を補給してください。
ﾖｳｼｶﾞ ﾂﾏﾘﾏｼﾀ	用紙がつまっています。	つまっている用紙を取り除いてください（→8-1〜8-5ページ）。
ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ ｴﾗｰ	カセットまたは手差しトレイにセットされている用紙のサイズと、ユーザモードの「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」で設定された用紙のサイズが一致しません。	正しいサイズの用紙をセットするか、ユーザモードの「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」の設定を変更してください（→9-2ページ）。そのあと、本機の右カバーをいったん開けて閉じ、本機をリセットしてください。
ﾖｳｼｻｲｽﾞｶﾞ A4 ﾃﾞﾊｱﾘﾏｾﾝ	カセットまたは手差しトレイにA4サイズの用紙がセットされていません。	カセットまたは手差しトレイにA4サイズの用紙をセットしユーザモードの用紙サイズ設定をA4にしてください（→2-3〜2-8ページ）。
ﾖﾐｺﾐ ﾁｭｳ ↑↓ ﾒﾓﾘｶﾞ ｱｸﾉｦ ﾏｯﾃｲﾏｽ ↑↓ ｼﾊﾞﾗｸ ｵﾏﾁｸﾀﾞｻｲ	大量の原稿、グラフィックや写真のたくさん載っている原稿、または2 in 1コピーの原稿を読みこみ中にメモリの残量が少なくなりました。	メモリに空きができると、自動的に読みこみが再開します。

用紙がうまく送られない

用紙が正しく送られない

カセットまたは手差しトレイにセットされている枚数が多すぎる

- 用紙の量がカセットまたは手差しトレイの容量を超えないように注意してください（→2-3〜2-8ページ）。
- カセットまたは手差しトレイに用紙を無理につめこまないでください。

用紙が正しくセットされていない

- 用紙がカセットまたは手差しトレイに正しくセットされているか、幅ガイド、長さガイド、またはスライドガイドが正しく調節されているかを確認してください（→2-3〜2-8ページ）。

用紙が斜めに送られる（斜めに印刷される）

用紙が正しくセットされていない

- 用紙がカセットまたは手差しトレイに正しくセットされているか、幅ガイド、長さガイド、またはスライドガイドが正しく調節されているかを確認してください（→2-3〜2-8ページ）。
- 排紙口にゴミや異物がないか確認してください。

何枚か重なって送られる

用紙が正しくセットされていない

- 用紙がカセットまたは手差しトレイに正しくセットされているか、幅ガイド、長さガイド、またはスライドガイドが正しく調節されているかを確認してください（→2-3〜2-8ページ）。

用紙どうしがくっついている

- 用紙をカセットにセットするときは、よくさばいて、端をそろえてからセットしてください。

カセットまたは手差しトレイにセットされている枚数が多すぎる

- 用紙の量がカセットまたは手差しトレイの容量を超えないように注意してください（→2-3〜2-8ページ）。
- カセットまたは手差しトレイに用紙を無理につめこまないでください。

カセットに種類の違う用紙がセットされている

- 1種類の用紙のみをセットしてください。
- 用紙が本機の条件に合っているか確認してください（→2-1ページ）。

OHPフィルムがうまく送られない

OHPフィルムをカセットにセットしている

- OHPフィルムはカセットにはセットしないでください。必ず手差しトレイにセットしてください。

OHPフィルムが手差しトレイに正しくセットされていない

- 正しくセットされていることを確認してください（→2-6〜2-8ページ）。OHPフィルムは手差しトレイに1枚ずつセットしてください。

カラーコピー用のOHPフィルムがセットされている

- カラーコピー用のOHPフィルムは使用しないでください。紙づまりの原因となります。キヤノン推奨のOHPフィルムを使用してください。

■ 用紙が丸まって送られる

本機の条件に合わない用紙がセットされている

- 適切な用紙をカセットまたは手差しトレイにセットしてください（→「2章　用紙のセット」）。

■ 用紙が乱雑に積み重なっている

本機の条件に合わない用紙がセットされている

- 適切な用紙をカセットまたは手差しトレイにセットしてください（→「2章　用紙のセット」）。

■ 紙づまりがたびたび起こる

用紙そのものに問題がある

- 用紙をカセットにセットするときは、よくさばいて、端をそろえてからセットしてください。
- 用紙のサイズや厚さ、種類と、設置した環境が本機の条件に合っているか確認してください（→「2章　用紙のセット」、1-1ページ、A-1ページ）。
- いったん排紙トレイから取り出した用紙を排紙トレイに戻さないでください。
- 排紙トレイの上にはモノを置かないでください。

■ 封筒がうまく送られない

封筒が正しくセットされていない

- 封筒が正しくセットされているか確認してください（→2-4、2-7ページ）。カセットにセットできる封筒の枚数は、20枚までです。手差しトレイには1枚ずつ封筒をセットしてください。

封筒の種類が、本機の条件に合っていない

- 使用できる封筒は、洋形4号、洋形2号、COM10、Monarch、DL、ISO-C5です（→2-4、2-7ページ）。

コピーできない

まったくコピーできない

カートリッジが正しく取り付けられていない

- カートリッジが正しく取り付けられているか確認してください（→「セットアップガイド」）。

カートリッジから開封シールを引き抜いていない

- カートリッジから開封シールを引き抜いてください（→「セットアップガイド」）。

カセットが本体に完全に押しこまれていない

- カセットを本体にセットするときは、本体奥に突き当たるまで完全に押しこんでください（→「セットアップガイド」）。

原稿が正しくセットされていない（D350のみ）

- 原稿を取り出し、複数ページの原稿はきちんと端をそろえて、ADFに正しくセットしてください（→3-4ページ）。
- ADFが閉じていることを確認してください。

複数部コピーすると、LCDディスプレイに「ﾒﾓﾘｶﾞ　ｲｯﾊﾟｲﾃﾞｽ」および「OKｷｰｦ　ｵｼﾃｸﾀﾞｻｲ」か、または「ﾒﾓﾘｶﾞ　ｱｸﾉｦ　ﾏｯﾃｲﾏｽ」が表示される

カセットまたは手差しトレイの用紙がなくなっている

- カセットまたは手差しトレイに用紙がなく、さらにコピー中にメモリがいっぱいになると、「ﾒﾓﾘｶﾞ　ｱｸﾉｦ　ﾏｯﾃｲﾏｽ」と「ﾖｳｼｶﾞ　ｱﾘﾏｾﾝ」が交互に表示されます。用紙をセットするとコピーは自動的に再開します。

コピー対象の原稿に含まれているグラフィックや写真が多すぎる

- このような原稿をコピーするときは、原稿をいくつかに分けてコピーするか、1回に1ページずつコピーしてください。

メモリがいっぱいになっている

- メモリ内の原稿をすべて印刷、または削除して、メモリを空けてから、もう一度操作してください。

ADF（自動原稿給紙装置：D350のみ）を使ってコピーしたあとの原稿が汚れたり黒いスジが入る

ADFの読み取りエリアが汚れている

- 原稿台ガラスの読み取りエリアを清掃してください（→7-2ページ）。

メモ
- その他の問題への対処方法については、「きれいに印刷、コピーできない」を参照してください。

きれいに印刷、コピーできない

きれいな印刷ができない（不鮮明、部分的に欠ける、白いスジがある）

用紙のサイズや厚さ、種類が本機の仕様に合っていない

- 用紙が本機の条件に合っているか確認してください（→2-1ページ）。

カートリッジが正しく取り付けられていない

- カートリッジが正しく取り付けられているか確認してください（→「セットアップガイド」）。

カートリッジ内のトナーが残り少なくなっている

- 「カートリッジ交換の目安」（→7-3ページ）を参照して、必要な場合は交換してください（→7-6ページ）。

コピー濃度が適切に設定されていない

- **濃度**キーを使ってコピー濃度を調節してください（→5-7ページ）。
- ユーザモードの「ｷｮｳﾂｳ　ｷﾉｳ　ｾｯﾃｲ」の「ﾉｳﾄﾞ ｾｯﾃｲ」でコピー濃度を調節してください（→9-2ページ）。

文字や線が鮮明にコピーされない、または写真などの網点がきれいにコピーされない

- ユーザモードの「ｼｬｰﾌﾟ ﾈｽ」の値を調節してください（→9-3ページ）。

原稿が正しくセットされていない

- 原稿を取り出し、複数ページの原稿はきちんと端をそろえて、ADFに正しくセットしてください（→3-4ページ）。
- 原稿が裏表逆にセットされていないか確認してください（→3-4ページ）。

コピー面が汚れる

原稿台ガラスまたは原稿台カバーが汚れている

- 原稿台ガラスまたは原稿台カバーを清掃してください（→7-1ページ）。

カートリッジに傷がついている

- 新しいカートリッジと交換してください（→7-6ページ）。

結露が発生している

- 本体を2時間以上放置し、室温になじませてください。

不安定な場所に設置されている

- 適切な場所に設置してください（→1-1ページ）。

コピーが濃すぎるまたは薄すぎる

コピー濃度が適切に設定されていない

- **濃度**キーを使ってコピー濃度を調節してください（→5-7ページ）。
- ユーザモードの「ｷｮｳﾂｳ　ｷﾉｳ　ｾｯﾃｲ」の「ﾉｳﾄﾞ ｾｯﾃｲ」でコピー濃度を調節してください（→9-2ページ）。

ユーザモードの「ｷｮｳﾂｳ　ｷﾉｳ　ｾｯﾃｲ」の「ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ」を「ｽﾙ」に設定している

- 「ﾄﾅｰｾｰﾌﾞ ﾓｰﾄﾞ」を「ｼﾅｲ」に設定してください（→9-2ページ）。

■ 厚紙にコピーしたときに画像が欠けたり、かすれたりする

ユーザモードの「ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」の「ｶﾐｼｭ」が正しく設定されていない

- 「ｶﾐｼｭ」の「ｱﾂｶﾞﾐ」を選んでください（→9-2ページ）。

■ ざらつきのある紙にコピーしたときに画像が欠ける

ユーザモードの「ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」の「ｶﾐｼｭ」が正しく設定されていない

- 「ｶﾐｼｭ」の「ﾌﾂｳｼL」を選んでください（→9-2ページ）。

■ 2 in 1機能を使ってコピーしたときに画像が欠ける

原稿がA4サイズではない

- 2 in 1コピー機能を使ってコピーするときは、必ずA4サイズの原稿を2枚使ってください。
- LTR（レター）サイズを使って2 in 1コピーするときは、ユーザモードの「ｻｲｽﾞ ｹｲﾚﾂ」をインチにし、「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」をLTRに設定した後カセットまたは手差しトレイにレターサイズの用紙をセットしてから、2 in 1コピーをしてください。

■ コピーしたときに用紙の端が汚れる

ユーザモードの「ﾖｳｼ ｾｯﾃｲ」の「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」が正しく設定されていない

- 「ﾖｳｼ ｻｲｽﾞ」で適切な用紙サイズを指定してください（→9-2ページ）。

印刷できない

■ 印刷中にエラーランプが点滅する

紙づまりしているか、カセットまたは手差しトレイに用紙がない

- つまった用紙を取り除くか、カセットまたは手差しトレイに用紙をセットしてください（→8-1〜8-5、2-3〜2-8ページ）。
- 紙づまりでない場合や、カセット／手差しトレイに用紙がセットされている場合は、電源コードを電源コンセントから抜いて3〜5分間待ってから、もう一度電源コードを電源コンセントに差し込んでください。問題が解決していれば、エラーランプが消えて、LCDディスプレイはスタンバイ表示に戻ります。電源コードを差し込み直してもまだエラーランプが点滅するときは、電源コードを電源コンセントから抜いて、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。

一般的なトラブル

電源が入らない

電源コードのコネクタとプラグが、本機の差し込み口と電源コンセントにしっかり差し込まれていない

- 電源コードが、本機左側面にある差し込み口と電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。本機の差し込み口に斜めに差し込んでしまったときは、電源コードを差し込み口から抜き、1分以上たってから電源コードを差し込み口にまっすぐに差し込み直してください（→「セットアップガイド」）。

LCDディスプレイに何も表示されない

電源コードのコネクタとプラグが、本機の差し込み口と電源コンセントにしっかり差し込まれていない

- 電源コードが、本機左側面にある差し込み口と電源コンセントにしっかり差し込まれているか確認してください。本機の差し込み口に斜めに差し込んでしまったときは、電源コードを差し込み口から抜き、1分以上たってから電源コードを差し込み口にまっすぐに差し込み直してください（→「セットアップガイド」）。OAタップに接続しているときは、OAタップが電源コンセントに正しく接続され、OAタップの電源が入っているか確認してください。それでもLCDディスプレイに何も表示されないときは、電源コードを電源コンセントから抜き、本機内部の温度が下がるまで約3〜5分待ってから、電源コードを電源コンセントに差し込み直してください。それでもLCDディスプレイに何も表示されないときは、電源コードを電源コンセントから抜き、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。

節電キーが点灯している

- 節電モードになっています。**節電**キーを押すと節電モードから復帰します。

LCDディスプレイにエラーコード（Eと数字）が表示される

何らかのエラーが発生した

- 電源コードを電源コンセントから抜き、約3〜5分待ってから電源コードを電源コンセントに差し込み直してください。それでも同じ表示が出るときは、電源コードを電源コンセントから抜き、キヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。

どうしても問題が解決しないとき

問題が発生して、この章の説明にしたがって対処しても、どうしても解決しなかったときは、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。
キヤノンのサポートスタッフは、お客様にご満足いただける技術サポートを提供できるようにトレーニングされております。

注意

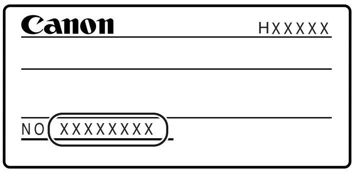
- **本機から変な音や煙が出たり、変なにおいがするときは、すぐに電源コードを電源コンセントから抜いて、お買い求めの販売店、またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）に連絡してください。絶対にご自分で修理、分解はしないでください。**

重要

- 本機をご自分で修理、分解されると、保証期間中でも保証が受けられなくなります。

連絡の前に、あらかじめ次のことを確認してください。

- **製品名**
  A4デジタル複合機　Satera D350/D300
- **シリアルナンバー（機体番号）**
  機体番号は、本機の背面のラベルに書かれています。



- **CARPSソフトウェアのバージョン（→「プリンタドライバガイド」）**
- **お買い求めの販売店名**
- **トラブルの詳しい状況**
- **トラブルの解決のために実施したことと、その結果**

9章

ユーザモードの設定

ユーザモードの設定のしかた

ユーザモードのメニューを使って、本機の機能を設定できます。
ここでは、本機に共通のメニューと、コピーモードのメニューについて説明します。

メモ
• ファクス機能の登録／設定については、「ファクスガイド」を参照してください。

メニューを表示する

1 **ユーザモード**キーを押します。

```
トウロク/セッテイ
  1.ヨウシ セッテイ
```

2 ◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、変更するメニューを選び、**OK**キーを押します。

例：
```
コピ゜ー シヨウ セッテイ
  1.ヒョウシ゛ュン カ゛シツ
```

3 ◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーを押して、変更するサブメニューを選びます。

例：
```
コピ゜ー シヨウ セッテイ
  2.ヒョウシ゛ュン ノウト゛
```

4 **OK**キーを押します。

例：
```
ヒョウシ゛ュン ノウト゛
                  マニュアル
```

メモ
• サブメニューの詳細については、9-2～9-5ページを参照してください。
• ◀**(－)**キーまたは▶**(＋)**キーで選択した後、**OK**キーを押して決定します。
• **OK**キーを押す前に**ストップ/リセット**キーを押すと、選択した内容は登録されません。
• **ストップ/リセット**キーを押すと、メニューの設定が終了します。
• **ユーザモード**キーを押すと、1つ上のメニューに戻ります。

メニュー設定一覧表

用紙設定（1. ヨウシ　セッテイ）

項目名	内容
1. ヨウシ　サイズ	用紙のサイズを選びます。 「**A4**」、「B5」、「A5」、「LTR」、「LGL」、「EXEC」、「ハガキ」、「フウトウ」*1（「ヨウガタ　4ゴウ」、「ヨウガタ　2ゴウ」、「COM10」、「Monarch」、「DL」、「ISO-C5」）、「フリー」（縦*2と横*3の長さをミリで指定できます）から選びます。 *1「フウトウ」の初期設定は、D350の場合は「ヨウガタ　4ゴウ」、D300の場合は「ヨウガタ　2ゴウ」です。 *2 タテ　サイズ：76～216mm *3 ヨコ　サイズ：127～356mm
2. カミシュ	用紙の種類を選びます。 「**フツウシ**」、「OHP　フィルム」、「アツガミ」、「フツウシL」から選びます。

（**太字**：初期設定）

共通機能設定（2. キョウツウ　キノウ　セッテイ）

項目名	内容
4. ノウド　セッテイ	本機で印字する際の濃度を5段階で設定します。（**中央**）
5. トナーセーブ　モード	トナーセーブモードを設定します。
スル	トナーセーブモードで印刷します。
シナイ	通常モードで印刷します。

（**太字**：初期設定）

メモ

- D350では、「1. ショキ　モード」、「2. オートクリアゴノモード　キリカエ」、「3. オンリョウ　チョウセイ」もメニューに表示されます。詳しくは「ファクスガイド」を参照してください。
- D300では、「1. ノウド　セッテイ」、「2. トナーセーブ　モード」と表示されます。

■ コピー機能設定（3. コピ゜ー　シヨウ　セッテイ）

項目名	内容
1. ヒョウジ゛ュン　ガ゛シツ	コピー時の標準画質モードを選びます。 「**モジ゛　ゲ゛ンコウ**」：文字モード 「モジ゛／シャシン」*1：文字／写真モード 「シャシン」*1：写真モード
2. ヒョウジ゛ュン　ノウド゛	コピー濃度の初期値を自動的に調節するか、手動で調節するかを選びます。
ジ゛ド゛ウ*2	コピー濃度の初期値を自動的に調節します。
マニュアル	コピー濃度の初期値を手動で調節します。 濃度は9段階で調節できます。（**中央**）
3. ヒョウジ゛ュン　バ゛イリツ	コピー時の初期倍率を設定します。「050%」～「200%」の範囲で設定できます。（**100%**）
4. ヒョウジ゛ュン　ブ゛スウ	コピー時の部数の初期値を設定します。「01」～「99」の範囲で設定できます。（**01**）
5. ジ゛ド゛ウ　ソート*3	ADFからコピーする時、自動的にソートするかを設定します。
スル	設定する。
シナイ	設定しない。
6. サイズ゛　ケイレツ	用紙サイズ系列を選びます。用紙サイズ系列を変更すると、定形変倍の倍率、2 in 1コピーの変倍率／用紙サイズも変わります。
AB	定型変倍：「50%」、「70%」、「81%」、「86%」、「100%」、「115%」、「141%」、「200%」 2 in 1コピー：「70%」、「A4」
インチ	定型変倍：「50%」、「64%」、「78%」、「100%」、「129%」、「200%」 2 in 1コピー：「64%」、「LTR」
A	定型変倍：「50%」、「70%」、「100%」、「141%」、「200%」 2 in 1コピー：「70%」、「A4」
7. シャープ゜ネス	画像の白黒をくっきりさせます。 文字や線を鮮明にコピーしたい場合は大きい値を、写真などの網点をきれいにコピーしたい場合は小さい値を選びます。9段階で調節します。（**5**）

（**太字**：初期設定）

*1 「モジ゛／シャシン」または「シャシン」を選ぶと、「ヒョウジ゛ュン　ノウド゛」は自動的に「マニュアル」になります。
*2 「ジ゛ド゛ウ」を選ぶと、「ヒョウジ゛ュン　ガ゛シツ」は自動的に「モジ゛　ゲ゛ンコウ」になります。
*3 D350のみ

メモ
- D350では、「4. ファクス　キノウ　セッテイ」、「5. アテサキ　トウロク」もメニューに表示されます。詳しくは「ファクスガイド」を参照してください。
- D300では、「5. サイズ゛　ケイレツ」、「6. シャープ゜ネス」と表示されます。

■ プリンタ設定（D350：6.ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ，D300：4.ﾌﾟﾘﾝﾄ ｾｯﾃｲ）

項目名	内容
1.ﾋｮｳｼﾞｭﾝ ﾌﾞｽｳ	標準印刷部数を設定します。「01」～「99」の範囲で設定できます。（**01**）
2.ｼﾞﾄﾞｳ ｴﾗｰｽｷｯﾌﾟ	エラーを自動的に飛ばして印刷するか、エラーを飛ばさないで印刷するかを選びます。
ｽﾙ	自動エラースキップ機能を使用する。 エラーを自動的に飛ばして、次のジョブに移ります。エラーコードは表示されません。
ｼﾅｲ	自動エラースキップ機能を使用しない。 手動でエラーを飛ばして、次のジョブに移ります。
3.ｴﾗｰﾀｲﾑｱｳﾄ	パソコンからデータが届かないときに、何秒間待ってからエラーを返すかを設定します。
ｽﾙ	エラータイムアウト機能を使用する。 タイムアウト時間は「005～300」秒の間で設定できます。（**015ﾋﾞｮｳ**）
ｼﾅｲ	エラータイムアウト機能を使用しない。
4.ﾌﾟﾘﾝﾀ ﾘｾｯﾄ	現在受信中のジョブと受信済みのジョブを取り消します。

（**太字**：初期設定）

■ タイマー設定（D350：7.ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ，D300：5.ﾀｲﾏｰ ｾｯﾃｲ）

項目名	内容
1.ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ｾｯﾄ*	現在の日付と時刻を設定します。
2.ｵｰﾄｸﾘｱ	本機の操作を一定時間行わないと、LCDディスプレイが初期モード表示に戻る設定です。
ｽﾙ	設定する。 オートクリア機能が働くまでの時間を「1～9」分の間で設定できます。（**2ﾌﾝ**）
ｼﾅｲ	設定しない。
3.ｵｰﾄ ｾﾂﾃﾞﾝ	自動的に節電モードに移行するかを設定します。
ｽﾙ	設定する。 節電モードに移行するまでの時間を「03～30」分の間で設定できます。（**05ﾌﾝ**）
ｼﾅｲ	設定しない。
4.ﾋﾂﾞｹ/ｼﾞｺｸ ﾀｲﾌﾟ*	日付の表示方法を選びます。 **YYYY MM/DD**：年　月／日 DD/MM YYYY：日／月　年 MM/DD/YYYY：月／日／年

（**太字**：初期設定）

* D350のみ

メモ

- D300では、「1.ｵｰﾄｸﾘｱ」、「2.ｵｰﾄ ｾﾂﾃﾞﾝ」と表示されます。

■ リストの印刷（8．リスト プリント）*

項目名	内容
1．ユーザ データ	ユーザモードで設定または登録された項目のリストを印刷します。
3．レポート チュウシ	リスト出力を中止します。印刷を中止するリストを選びます。
レポートヲ チュウシ シマスカ？	
ハイ	リストの印刷を中止します。
イイエ	リストの印刷を中止しません。

* D350のみ

メモ

- 「2．ダイヤルリスト」もメニューに表示されます。詳しくは「ファクスガイド」を参照してください。

付録A

仕様

形式
デスクトップ

原稿台方式
固定式
ADF（自動原稿給紙装置）*：50枚（A4サイズ、64g/m²～80g/m²）
* D350のみ

感光体種類
OPC（有機半導体）

複写方式
間接静電転写方式

現像方式
乾式-成分ジャンピング現像方式

定着方式
熱定着方式（SURF方式）

解像度
約1200×600dpi

階調数
256階調

複写原稿
最大リーガルサイズまでのシート・本・立体物（最大2kg）

複写用紙
- カセット：64g/m²～128g/m²
- 手差しトレイ：64g/m²～128g/m²
- 普通紙、カラーペーパー、リサイクル紙、OHPフィルム、郵便はがき、封筒、厚紙（128g/m²まで）

複写サイズ
216mm×356mm～76.2mm×127mm

画像欠け幅
用紙：先端5.5mm、後端6mm、左右4mm
封筒：先端、左右、後端10mm

ウォームアップタイム
1秒以下（室温20℃）

ファーストコピータイム
原稿台ガラス：11秒以下
ADF*：14秒以下
（A4、等倍、手動濃度調節、カセット給紙（節電モードからの復帰直後と電源投入直後を除く））
* D350のみ

連続複写速度
等倍：A4　14枚／分

複写倍率
- 1:1±1.0%、1:2.000、1:1.414、1:1.154、1:0.865、1:0.816、1:0.717、1:0.500
- ズーム：0.500～2.000 （1%おき）

給紙方式
- カセット：250枚（64g/m²～80g/m²）
- 手差しトレイ：10枚（A4　64g/m²）
  1枚（その他）

連続複写
99枚まで

電源
AC100V、50Hz/60Hz

最大消費電力
D350：約0.65kw以下
D300：約0.65kw以下

大きさ
- D350：543mm（幅）×457mm（奥行）×453mm（高さ）
- D300：543mm（幅）×446mm（奥行）×347mm（高さ）

機械占有寸法
625mm（幅）×457mm（奥行）［カセットと手差しトレイが付いた状態］

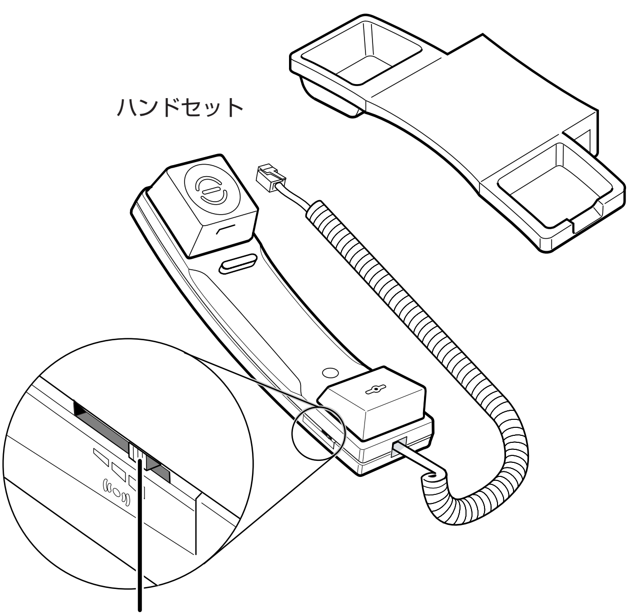
質量
- D350：約16.1kg（カートリッジを含む）
- D300：約14.5kg（カートリッジを含む）

製品改良のため記載事項が一部変更になることがありますのでご了承ください。
快適なコピーをおとりいただくため、キヤノン推奨の用紙、OHPフィルムのご使用をおすすめします。市販されている用紙のなかには本機に合わないものもありますので、市販の用紙を使用する際には、お買い求めの販売店またはキヤノンお客様相談センター（裏表紙）にご相談ください。

付録B

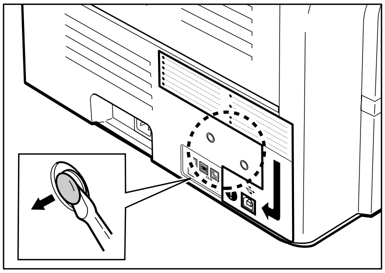
ハンドセット（オプション）の取り付け／接続（D350のみ）

ハンドセットレストを取り付ける

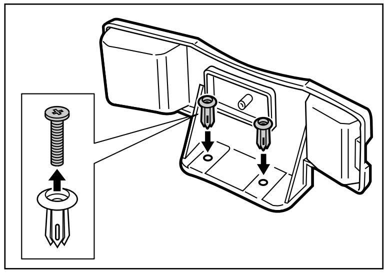


呼び出し音量調整スイッチ
呼び出し音の音量を調節します。
ペンなどの尖ったものを使って、「HIGH」、「LOW」、「OFF」の3段階で調節します。

1 ドライバーを使って、本体左側面にある2つのカバーをはずします。

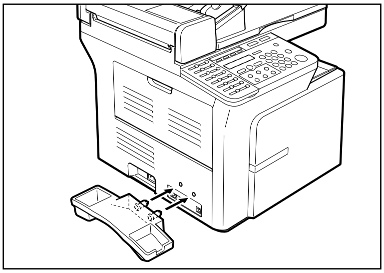


2 プラグからネジをはずし、ハンドセットレストの穴にプラグを差し込みます。



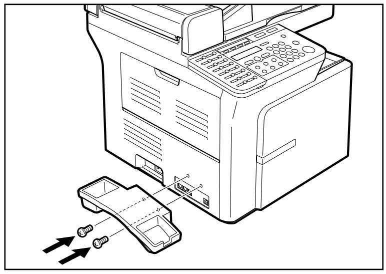
3 ハンドセットレストに差し込んだプラグを、本体の穴に差し込みます。

- プラグが差し込みにくい場合は、本体の向きを変えて、左側面が手前を向き、右側面が壁に接触するようにします。こうすれば、プラグを差し込むときに本機が動くことはありません。



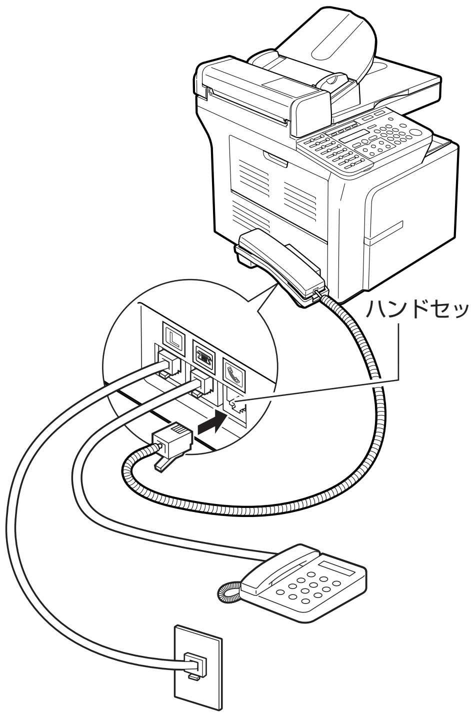
4 ネジを指でプラグに押しこみます。

- 指ではうまくいかない場合は、プラスドライバーを使ってネジをプラグの一番奥まで押しこんでください（ネジが傷むおそれがあるため、ねじこまないようにしてください）。
- ネジを押しこむときは、必ず本体をしっかり押さえてください。



ハンドセットを接続する

ハンドセットをハンドセットレストに置き、ハンドセットのコードをハンドセット（オプション）用端子に接続します。



索　引

や

ゆ

よ

り

れ

お客様相談センター （全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間] ＜平日＞ 9:00〜20:00 ＜土日祝日＞10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※ 上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※ IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※ 受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

修理受付窓口

デジタル複合機の修理サービスのご相談は、お買い上げ販売店または、下記のサービス窓口へお問い合わせください。

下記、修理受付窓口の受付時間は 9:00AM〜5:30PMです。土曜、日曜、祝祭日は休ませていただきます。
（但し、東京QRセンター・新宿QRセンターの営業時間は10:00AM〜6:00PM、休業日は 日曜・祝祭日です。）
また、※印のサービスセンターでは、郵送・宅配による修理品もお取り扱いを致しております。

お願い:デジタル複合機のお取り扱い方法のお問い合わせは、必ず販売店または「お客様相談センター」あてにご連絡ください。

（北海道地区）		
※札幌サービスセンター	TEL 011(728)0665	〒060-8522 北海道札幌市北区北7条西1−1−2 SE山京ビル1F
（東北地区）		
※仙台QRセンター	TEL 022(217)3210	〒980-8560 宮城県仙台市青葉区国分町3−6−1 仙台パークビルヂング1F
（東京・神奈川・関東・山梨地区）		
東京QRセンター（持込のみ）	TEL 03(3837)2961	〒110-0005 東京都台東区上野1-1-12 信井ビル1F
新宿QRセンター（持込のみ）	TEL 03(3348)4725	〒163-0401 東京都新宿区西新宿2-1-1 新宿三井ビル1F
横浜QRセンター（持込のみ）	TEL 045(312)0211	〒220-0004 神奈川県横浜市西区北幸2−6−26 HI横浜ビル2F
東日本修理センター（持込のみ）	TEL 043(211)9032	〒261-8711 千葉県千葉市美浜区中瀬1−7−2 キヤノンMJビル1F
※キヤノンテクニカルセンター（郵送・宅配のみ）	TEL 0297(35)5000	〒306-0605 茨城県坂東市馬立1234 F7棟3F
関東地区・東京地区で郵送・宅配にて修理品をお送りいただく場合は、上記キヤノンテクニカルセンターにお送りください。		
（中部・北陸地区）		
※名古屋QRセンター	TEL 052(939)1830	〒461-8511 愛知県名古屋市東区東桜2−2−1 高岳パークビル1F
（近畿地区）		
※大阪QRセンター	TEL 06(6459)2565	〒530-0005 大阪府大阪市北区中之島6−1−21 キヤノンビジネスサポート中之島ビル2F
（中国・四国地区）		
広島サービスセンター（持込のみ）	TEL 082(240)6712	〒730-0051 広島県広島市中区大手町3−7−5 広島パークビルヂング1F
（九州地区）		
※福岡QRセンター	TEL 092(411)4173	〒812-0017 福岡県福岡市博多区美野島1−2−1 キヤノンMJ福岡ビル1F

2006年6月1日現在 上記の記載内容は、都合により予告なく変更する場合がございますのでご了承下さい。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社

消耗品のご注文先

販 売 先

電話番号

担当部門

担 当 者

サービス担当者 連絡先

販 売 店

電話番号

担当部門

担 当 者

Canon

キヤノン株式会社・キヤノンマーケティングジャパン株式会社

お客様相談センター
（全国共通番号）

050-555-90024

[受付時間] ＜平日＞ 9:00〜20:00
＜土日祝日＞ 10:00〜17:00
（1/1〜3は休ませていただきます）

※上記番号をご利用いただけない方は043-211-9627をご利用ください。
※IP電話をご利用の場合、プロバイダーのサービスによってつながらない場合があります。
※受付時間は予告なく変更する場合があります。あらかじめご了承ください。

キヤノンマーケティングジャパン株式会社 〒108-8011 東京都港区港南2-16-6

HT1-1154-000-V.2.1

PRINTED IN CHINA OR KOREA